docomo

# BF-01D
# 取扱説明書


はじめに 1
本商品の設置 2
本商品との無線接続 3
インターネット接続設定 4
海外利用 5
困ったときは 6
付録 7


このたびは、BF-01Dをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本書は、本商品の設置や初期設定、困ったときの対策方法などについて説明しています。使用前に必ず本書をお読みください。

# 本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

## ■文中マーク／用語表記

⚠注意 マーク　製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

メモ マーク　製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

▶参照 マーク　関連のある項目のページを記しています。

・文中[ ]で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表しています。
・文中「 」で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表しています。

# SIMロック解除

本商品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると、他社のSIMカードを使用することができます。

・SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
・別途SIMロック解除手数料がかかります。
・SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。
・他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
・SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

・「取扱説明書(PDFファイル)」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※URLおよび記載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

| | |
|---|---|
| | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
| | この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。 |

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | |
|---|---|
| | 禁止(してはいけないこと)を示します。 |
| | 分解してはいけないことを示す記号です。 |
| | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |

| | |
|---|---|
| 水濡れ禁止 | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
| 指示 | 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。 |
| 電源プラグを抜く | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

本商品、電池パック、ACアダプタ、卓上クレードル、ドコモUIMカードの取り扱いについて(共通) ..... P3
本商品の取り扱いについて ..... P6
電池パックの取り扱いについて ..... P8
ACアダプタの取り扱いについて ..... P10
ドコモUIMカードの取り扱いについて ..... P12
医用電気機器近くでの取り扱いについて ..... P12
材質一覧 ..... P14

## 本商品、電池パック、ACアダプタ、卓上クレードル、ドコモUIMカードの取り扱いについて(共通)

### ⚠危険

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本商品に使用する電池パックおよびACアダプタ、USBケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

## ⚠警告

禁止

**強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

**外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

**使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**

火災、やけどの原因となります。

指示

**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本商品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**

ガスに引火する恐れがあります。

指示

**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。**

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本商品の電源を切る。
- 電池パックを本商品から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

## ⚠注意

**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**

禁止　落下して、けがの原因となります。

**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**

禁止　火災、やけど、感電の原因となります。

**シャツやズボンなどのポケットに入れたまま使用しないでください。**

禁止　低温やけど、体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。

**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。**

指示　けがなどの原因となります。

**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**

指示　誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

**本商品をACアダプタやUSBケーブルでパソコンなどに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。**

指示　充電しながら長時間連続で使用すると、本商品や電池パック、ACアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

## 本商品の取り扱いについて

### ⚠警告

**本商品内のUIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**

禁止　火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。**

指示　電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

**医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**

指示　医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本商品の電源を切ってください。**

指示　電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

## ⚠注意

禁止

**ストラップなどを持って本商品を振り回さないでください。**

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

**本商品が破損したまま使用しないでください。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

**自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。**

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**

各箇所の材質について →「材質一覧」(P14)

## 電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

| 表示 | 電池の種類 |
|---|---|
| Li-ion 00 | リチウムイオン電池 |

### ⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本商品に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

## ⚠警告

**落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。**

禁止　電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**

指示　漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

**ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。**

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

## ⚠注意

**一般のゴミと一緒に捨てないでください。**

禁止　発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

**濡れた電池パックを使用したり、充電したりしないでください。**

禁止　電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。**

指示　失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

## AC アダプタの取り扱いについて

### ⚠警告

禁止

ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上クレードルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で外部接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタのコード、卓上クレードル、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

**指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。**

指示　誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**

指示　火災、やけど、感電の原因となります。

**電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。**

指示　火災、やけど、感電の原因となります。

**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

電源プラグを抜く　火災、やけど、感電の原因となります。

**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。**

電源プラグを抜く　火災、やけど、感電の原因となります。

**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

電源プラグを抜く　火災、やけど、感電の原因となります。

## ドコモ UIM カードの取り扱いについて

### ⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

### ⚠警告

指示

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本商品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本商品の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本商品の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本商品の電源を切ってください。**

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本商品は22cm以上離して携行および使用してください。**

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 材質一覧

| 仕様箇所 | 材質/表面処理 |
|---|---|
| 本体 | |
| 外装ケース | PC+ABS、グラファイト、銅/塗装 |
| 外装ケース（銀色部分） | PC+ABS/塗装 |
| 電源ボタン | PC+ABS/塗装 |
| AOSSボタン | PC+ABS/塗装 |
| リアカバー | PC+ABS、グラファイト、銅/塗装 |
| UIMカードスロットストッパー | TPU |
| 電池パック接続端子 | 銅合金/金メッキ |
| 製品ラベル（電池ボックス部分） | 50＃White PET+Matte OPP Film |
| 初期値ラベル | White PET+Matte OPP Film |
| クレードルコネクタ | 銅合金/金メッキ |
| mini USBコネクタ | 銅合金/金-ニッケル-スズメッキ |
| コネクタカバー | PC+ABS/塗装 |
| 卓上クレードル | |
| 外装ケース | PC+ABS/塗装 |
| クレードルコネクタ | 銅合金/金メッキ |
| 電源コネクタ | 銅合金/金メッキ |
| 有線ポート | 銅合金/金メッキ |
| 切り替えスイッチ | PC+ABS |
| ラベル | 50＃White PET+Matte OPP Film |
| ゴム足 | ゴム |
| ACアダプタ | |
| 本体 | PC945 |
| 端子部分 | 銅/ニッケルメッキ |
| 電池パック | |
| 本体 | PC |
| 端子部分 | ニッケル/金メッキ |

| 仕様箇所 | 材質/表面処理 |
| --- | --- |
| USBケーブル | |
| 本体 | 銅/PVC |
| mini USB接続端子 | 銅/金メッキ/LCP |
| USB接続端子 | 銅/金メッキ/PBT |
| LANケーブル | |
| 本体 | 銅/PE/PVC |
| LAN接続端子 | 銅/金メッキ/PC |

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

**■水をかけないでください。**

本商品、電池パック、ACアダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

**■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**

アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

**■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

**■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

**■本商品や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器をクレードルコネクタやmini USBコネクタに差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

**■電池パック、ACアダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

## 本商品についてのお願い

**■極端な高温、低温は避けてください。**
温度は0℃～35℃、湿度は10%～85%の範囲でご使用ください。

**■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

**■お客様ご自身で本商品に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

**■本商品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

**■クレードルコネクタやmini USBコネクタに外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

**■移動するときは、本商品をパソコンから取り外してください。**
故障、破損の原因となります。

**■使用中、充電中、本商品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

**■リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

**■本商品の内部ストレージ領域の使用中は、本商品をパソコンから取り外したり、本商品の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

**■磁気カードなどを本商品に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

**■本商品に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

## 電池パックについてのお願い

**■電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

**■充電は、適正な周囲温度(0℃～35℃)の場所で行ってください。**

**■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

**■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

**■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
・電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

## ACアダプタについてのお願い

**■充電は、適正な周囲温度(0℃～35℃)の場所で行ってください。**

**■次のような場所では、充電しないでください。**
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

**■充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■**抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■**強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

## ドコモUIMカードについてのお願い

■**ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■**他のICカードリーダー/ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■**IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■**お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■**お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■**環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■**ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■**ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■**ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

**■ ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本商品に取り付けないでください。**

故障の原因となります。

## 無線LAN(WLAN)についてのお願い

**■ 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティーの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティーの設定を行い、使用することを推奨します。**

**■ 無線LANについて**

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

**■ 周波数帯について**

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。

③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▬ ▬ ▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本商品に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

フランスなど、一部の国/地域では、無線LANの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国/地域の法規制など条件をご確認ください。

### ■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

**■本商品の5GHz帯の使用チャンネルについて**

本商品は、5GHzの周波数帯において、W52、W53の2種類のチャンネルを使用できます。

・W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。

## 注意

**■改造された本商品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

本商品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク ㊣ 」が本商品の銘版シールに表示されております。

本商品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

**■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

**■通信中は、本商品を身体から15mm以上離してご使用ください。**

**■基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

# 目次


**安全上のご注意（必ずお守りください）.....1**

**取り扱い上のご注意.....16**

## 1　はじめに.....27

おもな特長.....27
動作環境.....28
本体付属品.....30
各部の名称とはたらき.....32
　本体前面.....32
　本体側面.....35
　本体背面.....36
　卓上クレードル前面.....37
　卓上クレードル上部.....37
　卓上クレードル背面.....38

## 2　本商品の設置.....39

ドコモUIMカードの取り付けかた/取り外しかた.....39
電池パックの取り付けかた/取り外しかた.....42
充電のしかた.....44
　ACアダプタで充電する場合.....44
　USBケーブルで充電する場合.....47
電源のON/OFF.....48
卓上クレードルへの取り付けかた.....49
卓上クレードルの便利な使いかた.....52

例1：ホテルやご家庭のLAN端子と接続 ....52
例2：ご家庭に設置済みのブロードバンドルーターに接続 ..52
例3：デスクトップパソコンに接続 ....53
例4：NAS（ネットワーク対応ハードディスク）に接続 ....53

## 3 本商品との無線接続 ....54

本商品との無線接続手順について ....54
付属ソフトウェアのインストール ....55
Windows XPのパケット通信設定の最適化 ....59
パソコンとの無線LAN接続 ....62
Windows 7/Vistaの場合 ....62
Windows XPの場合 ....69
Macintoshの場合 ....73
倍速モードの設定をする ....75
パソコンで設定する場合 ....75
ポータブル機器で設定する場合 ....77

## 4 インターネット接続設定 ....79

設定画面を表示する ....79
Windowsパソコンで設定画面を表示する ....79
Macintoshで設定画面を表示する ....85
ポータブル機器で設定画面を表示する ....88
FOMA/Xi回線への接続設定をする ....90
パソコンで設定する場合 ....90
ポータブル機器で設定する場合 ....93
NTTドコモの公衆無線LANサービスへの接続設定をする ....97
パソコンで設定する場合 ....97
ポータブル機器で設定する場合 ....100
フレッツ・スポットへの接続設定をする ....103
パソコンで設定する場合 ....103
ポータブル機器で設定する場合 ....106

ホットスポットへの接続設定をする ..... 110
パソコンで設定する場合 ..... 110
ポータブル機器で設定する場合 ..... 113
フリースポットへの接続設定をする ..... 117
パソコンで設定する場合 ..... 117
ポータブル機器で設定する場合 ..... 119
ご家庭に設置済みの親機への接続設定をする ..... 122
AOSS/WPS(プッシュボタン式)接続する場合 ..... 122
パソコンで無線親機を検索して接続する場合 ..... 124
ポータブル機器で無線親機を検索して接続する場合 ..... 126
ホテルやご家庭で使用する(有線接続) ..... 129
パソコンで設定する場合 ..... 129
ポータブル機器で設定する場合 ..... 133

## 5 海外利用 ..... 137

国際ローミング(WORLD WING)の概要 ..... 137
海外で利用できるサービス ..... 138
海外でご利用になる前の確認 ..... 138
出発前の準備について ..... 138
滞在先での利用について ..... 139
帰国後の設定について ..... 140
国際ローミングの設定を行う ..... 140
パソコンで設定する場合 ..... 140
ポータブル機器で設定する場合 ..... 142

## 6 困ったときは ..... 145

無線接続で困ったとき ..... 145
本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき ..... 147
本商品のランプの表示で困ったとき ..... 148
本商品の設定を初期化したいときは ..... 149
現在のSSIDや暗号化キーを確認したいときは ..... 150

ドコモUIMカードがロックされたときは ..... 153
「USIMカードのPIN認証が必要です」と表示される場合 .. 153
「USIMカードのPIN認証がロックされています。」と
表示される場合 ..... 155

## 7 付録 ..... 157

オプション・関連機器のご紹介 ..... 157
主な仕様 ..... 158
本体/卓上クレードル ..... 158
電池パック ..... 161
ACアダプタ ..... 161
リファレンスガイドの参照方法 ..... 162
ソフトウェア(ファームウェア)の更新 ..... 163
ソフトウェア更新時の注意 ..... 163
設定情報の保存と復元について ..... 163
ソフトウェア更新手順 ..... 164
設定画面に更新通知が表示されない場合 ..... 166
ソフトウェアの削除 ..... 169
暗証番号 ..... 172
保証とアフターサービス ..... 174
保証について ..... 174
アフターサービスについて ..... 174
お願い ..... 175
ダウンロード情報などについて ..... 176
用語集 ..... 177
輸出管理規制 ..... 182
Regulatory Information ..... 182
Federal Communications Commission (FCC)
Statement ..... 182
CE Marking ..... 184
索引 ..... 185

# 1 はじめに

## おもな特長

本商品のおもな特長は次のとおりです。

・「Xi」(受信時最大75Mbps、送信時最大25Mbps)に対応。

※Xiエリアの一部に限ります。**対応エリアの詳細は、ドコモのホームページでご確認ください。**通信速度は送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

・FOMA HIGH-SPEED(受信時最大14Mbps、送信時最大5.7Mbps)に対応。

※通信速度は、送受信時の技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。ベストエフォート方式による提供となり、実際の通信速度は、通信環境やネットワークの混雑状況に応じて変化します。

※Xiエリア外の場合、FOMAハイスピードエリアでもご利用いただけます。FOMAハイスピードエリア内であっても、場所によっては送受信ともに最大384kbpsの通信となる場合があります。FOMAハイスピードエリア外のFOMAエリアにおいては、送受信ともに最大384kbpsの通信となります。

※Xiエリアの帯域幅により規格上の通信速度は、受信速度(帯域幅[20/15/10/5MHz]):100/100/75/37.5Mbps、送信速度(帯域幅[20/15/10/5MHz]):50/37.5/25/12.5Mbpsとなります。

・Mzoneなどの公衆無線LANサービスエリアでは、インターネット接続をXi回線やFOMA回線から公衆無線LANに自動切替。

・付属の卓上クレードルにより、有線ポート接続、充電が可能。

・パソコンやゲーム機などの無線LAN機器を12台まで接続可能。

・無線LAN機器との接続は、AOSS・WPSを利用してワンタッチで接続可能。

・PMX(Personal Media eXchange)機能を使用し、専用コンテンツやPodcastなどを自動ダウンロード可能。また、内蔵ストレージに保存された写真や動画ファイルをオンラインストレージにアップロード可能(※)。
・約16GB(ユーザー領域約13GBを含む)のストレージを内蔵し、保存されたデータを、LAN側に接続の端末からデータアクセス可能とするNASストレージ機能を搭載(※)。
・内部ストレージに保存した画像・動画ファイルを、DLNA対応プレーヤーにて再生可能とするメディアサーバー機能を搭載(※)。

※PMX機能、NASストレージ機能、メディアサーバー機能についての詳細は、リファレンスガイドの第2章を参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。

# 動作環境

本商品の動作環境は次のとおりです。

| | 本商品との無線接続 | 本商品の設定変更 |
|---|---|---|
| Windows 7 (32/64bit) *1 | ○ | ○ *6 |
| Windows Vista (32/64bit) *2 | ○ | ○ *6 |
| Windows XP (32bit) *3 | ○ | ○ *6 |
| Mac OS X 10.6 *4 | ○ | ○ *6 |
| Mac OS X 10.5 *4 | ○ | ○ *6 |
| Mac OS X 10.4 *4 | ○ | ○ *6 |
| iPad *5 | ○ | △ *6, 7 |
| iPod touch *5 | ○ | △ *6, 7 |
| ニンテンドー3DS™ | ○ | △ *6, 7 |
| ニンテンドーDS® | ○ | △ *6, 7 |
| PSP®「プレイステーション・ポータブル」 | ○ | △ *6, 7 |

**○:対応**
**△:パソコン用設定画面と比べて、一部機能が省略されています**

*1 Windows 7は、Starter/Home Premium/Professional/Ultimateに対応しています。
*2 Windows Vistaは、Service Pack 2以降のHome Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimateに対応しています。
*3 Windows XPは、Service Pack 3以降が必要です。
*4 付属のソフトウェア(エアステーション設定ツール/クライアントマネージャ)は、Mac OS Xには対応しておりません。
*5 iOS 3.2/4.0/4.1/4.2/4.3/5.0にて動作確認を行っております。
*6 本商品の設定画面は、以下の「対応ブラウザ」に記載のブラウザに対応しています。それ以外のブラウザでは、正しく表示されないことがあります。
*7 ポータブル機器用設定画面での設定となり、パソコン用設定画面と比べて一部設定できない項目があります。

## 対応ブラウザ

Internet Explorer 6/7/8/9
Firefox 3.5.x/3.6.x/4/5(Windows版)
ニンテンドーDSブラウザ
ニンテンドーDSiブラウザ
ニンテンドー3DSインターネットブラウザ
PSP®インターネットブラウザ
Safari 3.x/4.x/5.x (Mac OS/iPad/iPod touch)

## iPadやiPod touch、ゲーム機などのポータブル機器から設定を行う場合のご注意

・ポータブル機器からの設定は、ポータブル機器用設定画面にて行います。
(パソコン用設定画面と比べて、一部機能が省略されています)

・ポータブル機器からの各種設定方法については、以下を参照してください。

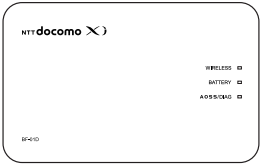
| | |
|---|---|
| 倍速モードの設定 | :本書のP75 |
| インターネット接続設定 | :本書のP90、P97、P103、P110、P117、P122、P129 |
| 国際ローミングの設定 | :本書のP140 |

※ 無線チャンネルの設定については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。

※ 上記以外の設定については、パソコンを使って設定してください。

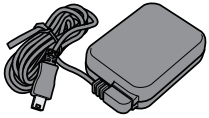
# 本体付属品

ご利用の前に、本体付属品がすべて揃っていることを確認してください。

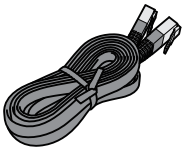



BF-01D本体
（リアカバー BF02、保証書含む）

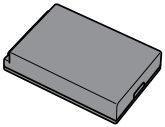
卓上クレードル BF02
（保証書付き）



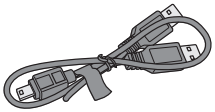
ACアダプタ BF01
（保証書付き）



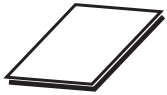
LANケーブル（試供品）
（取扱説明書付き）



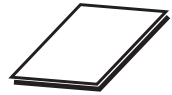
電池パック BF01



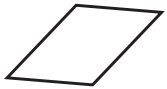
USBケーブル BF01



かんたんセットアップマニュアル
基本編/ポータブル機器編（各１部）



取扱説明書（本書）

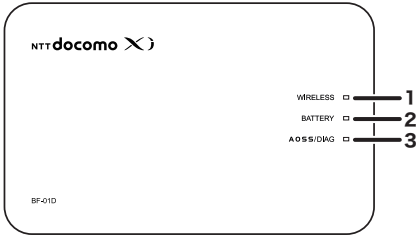


本商品ご使用時の注意

無線LAN注記シール

# 各部の名称とはたらき

## 本体前面




1. WIRELESSランプ

| | | |
|---|---|---|
| 点灯(青色) | ： | LTE圏内時 |
| 点灯(紫色) | ： | 待機状態(通信中、発信中以外の状態で、かつ圏内) |
| 点灯(水色) | ： | 3G圏内時 |
| 点灯(緑色) | ： | Internet側無線LAN圏内時 |
| 点灯(赤色) | ： | LTE、3G回線およびInternet側無線LAN圏外時、有線Internet未接続時 |
| 点滅(青色) | ： | LTE回線で通信中 |
| 点滅(水色) | ： | 3G回線で通信中 |
| 点滅(緑色) | ： | Internet側無線LANで通信中 |
| 消灯 | ： | 有線Internet接続時、スタンバイモード時、本商品の電源がOFFの状態 |

2. BATTERYランプ

| | | |
|---|---|---|
| 点灯(青色) | ： | 電池残量が50%以上<br>充電完了および、本商品の電源がONの状態 |
| 点灯(緑色) | ： | 電池残量が49～25% |
| 点灯(赤色) | ： | 電池残量が24～10% |
| 点滅(赤色) | ： | 電池残量が10%未満 |
| 点滅(紫色) | ： | ファームウェア更新中 |
| 点灯(水色) | ： | 充電中 |

点灯(紫色)　：電池パックが高温のため、充電停止中
消灯　：充電完了および、本商品の電源がOFFの状態
スタンバイモード中で、本商品が充電されていない状態

**※ 電池残量についてはおおよその目安です。**

3. AOSS/DIAGランプ

点灯(水色)　：スタンバイモード時
点灯(緑色)　：セキュリティーキー交換処理に成功(AOSS/WPS成功)/
LAN側無線LANのセキュリティーが設定済み
2回点滅(青色)：本商品がセキュリティーキー交換処理を行える状態
(LAN側：AOSS/WPS待機中)
(Internet側：AOSS待機中)※1
連続点滅(青色)：セキュリティーキー交換処理に失敗(AOSS/WPS失敗)
点滅(赤色)　：点滅回数により、本商品の状態(次ページ参照)を示します。
消灯　：LAN側無線LANのセキュリティーが未設定、
本商品の電源がOFFの状態

点滅(赤色)状態の詳細:

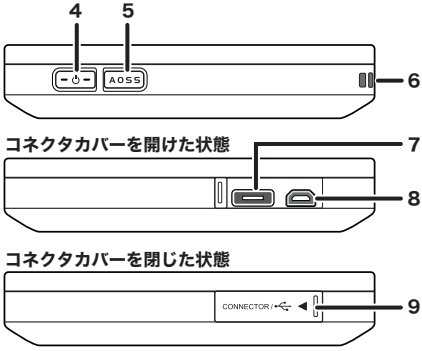
| 点滅(赤色)状態 | 内容 | 状態 |
|---|---|---|
| 連続点滅※2 | ・システム起動中<br>・設定保存中<br>・初期化中<br>・内部ストレージ領域にアクセス中 | |
| 連続点滅後に<br>本商品の電源がOFF | シャットダウン処理中 | |
| 3回点滅※3 | 有線LAN異常 | 有線LANコントローラーが故障しています。 |
| 4回点滅※3 | 無線LAN異常 | 無線LANコントローラーが故障しています。 |
| 5回点滅 | IPアドレス設定異常 | Internet側とLAN側のネットワークアドレスが同じため通信できません。本商品のLAN側IPアドレスの設定を変更してください。 |
| 6回点滅後に<br>本商品の電源がOFF | 温度異常 | 本商品の内部温度が高くなっています。しばらく経ってからご使用ください。 |

※1 AOSS待機中の機器が本商品のInternet側に検出されると、2回点滅(緑色)に切り替わります。

※2 連続点滅中は、電源をOFFにしないでください。本商品が故障する恐れがあります。

※3 ACアダプタを本商品から取り外した後、本商品の電源をOFFにし、電池パックを取り外してください。その後、しばらくしてから電池パックを元に戻してください。

# 本体側面




4. 電源ボタン

電源OFFの状態で本商品の電源ボタンを約3秒間押し続けると、電源がONになります。本商品の動作中に約3秒間電源ボタンを押し続けると、電源がOFFになります。

5. AOSSボタン

本商品の電源がONの状態で、AOSS/DIAGランプが青色に点滅するまで(約3秒間)ボタンを押すと、本商品がセキュリティーキー交換処理を行える状態(AOSS動作状態)になります。

6. ストラップホール

市販のストラップを取り付けることができます。

7. クレードルコネクタ

付属の卓上クレードルを接続します。

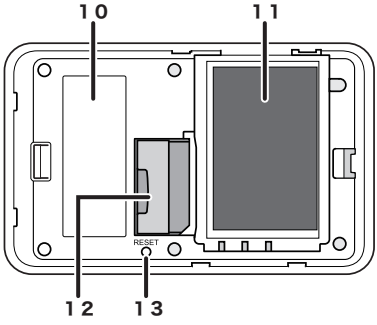
8. mini USBコネクタ

付属のACアダプタやUSBケーブルを接続します。

9. コネクタカバー

ACアダプタやUSBケーブルの接続、卓上クレードルへの取り付けは、コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから行ってください。無理に取り付けると破損する恐れがございますのでご注意ください。

# 本体背面




10. 初期値ラベル
本商品のSSID(12桁の値)や暗号化キー(KEY:13桁の値)などが記載されています。

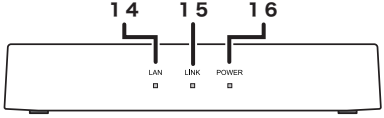
11. 電池ボックス
付属の電池パックを取り付けます。

12. UIMカードスロット
ドコモUIMカードを挿入します。

※ 本商品では、ドコモUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

13. リセットスイッチ(RESET)
本商品の電源がONの状態で、AOSS/DIAGランプが赤色に点滅するまで(約3秒間)スイッチを押し続けると、本商品の設定が初期化されます。

# 卓上クレードル前面

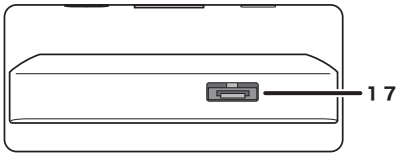



14. LANランプ
　　点灯(緑)　：有線ポートがLANポートとして設定されている場合
　　消灯　：有線ポートがINTERNETポートとして設定されている場合

15. LINKランプ
　　点灯(緑)　：有線ポートリンク時
　　点滅(緑)　：有線ポート通信時

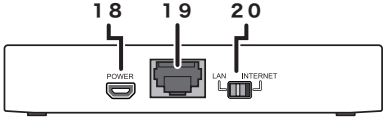
16. POWERランプ
　　点灯(緑)　：付属のACアダプタ装着時

# 卓上クレードル上部




17. クレードルコネクタ
　　本体側のクレードルコネクタを接続します。

# 卓上クレードル背面




**18. 電源コネクタ**
付属のACアダプタを接続します。

**19. 有線ポート**
切り替えスイッチで切り替えることにより、LANポート、INTERNETポートとして動作します。

**20. 切り替えスイッチ**
有線ポートをLANポートして使用するかINTERNETポートとして使用するかを切り替えます。

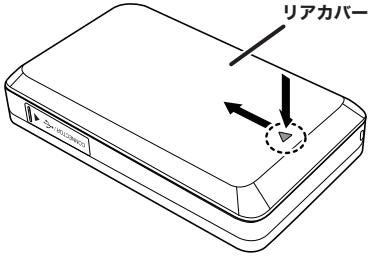
# 2 本商品の設置

## ドコモUIMカードの取り付けかた/取り外しかた

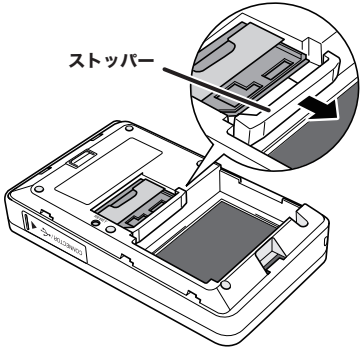
ドコモUIMカードは以下の手順で取り付け/取り外します。

**⚠注意** ドコモUIMカードの取り扱いは、ドコモUIMカードに付属の取扱説明書を参照してください。

**1** リアカバーを矢印方向に押しながら、少しスライドさせてリアカバーを外します。

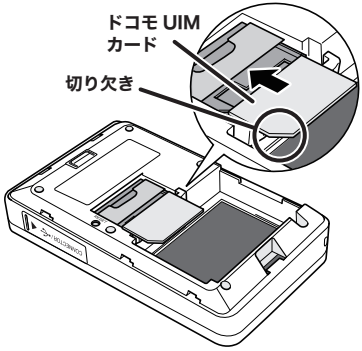


**2** ストッパーを引き出します。




※ 破損の恐れがありますので、無理に引っぱったり、力を加えたりしないでください。

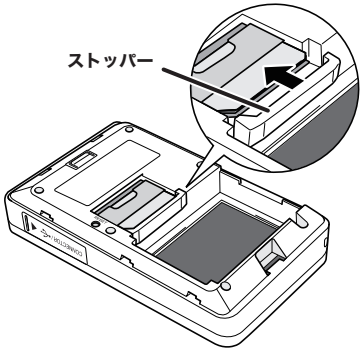
**3** ドコモUIMカードのIC(金色)面が下になるように挿入します。




※ ドコモUIMカードが破損する恐れがありますので、無理に取り付け/取り外しを行わないでください。

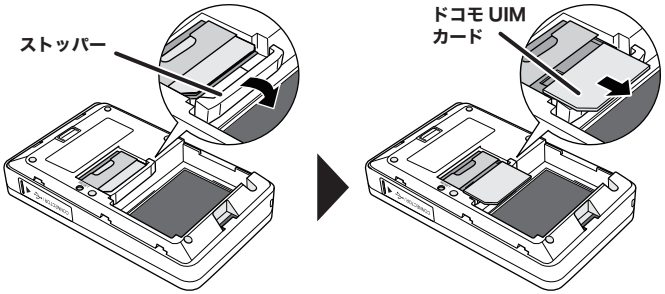
メモ ・ドコモUIMカードの切り欠きが図の位置になるように挿入してください。
・ドコモUIMカードを取り外す場合は、ストッパーを引き出した後、ドコモUIMカードをスライドさせて取り外してください。

## 4 ストッパーを元の位置に戻します。




以上でドコモUIMカードの取り付けは完了です。
続いて、本商品に電池パックを取り付けます。

ドコモUIMカードを取り外す際は、ストッパーを引き出して矢印方向に少し曲げてから、ドコモUIMカードをスライドさせてください。

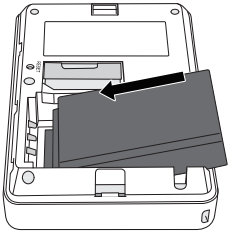


# 電池パックの取り付けかた/取り外しかた

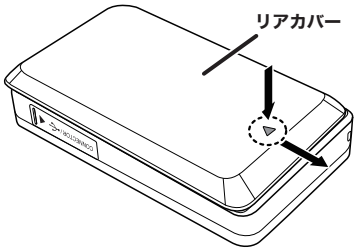
電池パックは以下の手順で取り付け/取り外します。

**メモ**
- お買い上げ時の状態では、電池パックは十分に充電されていません。本商品をご使用になる前に、「充電のしかた」(P44)を参照して電池パックを充電してください。
- 本体からACアダプタやUSBケーブルを取り外してから行ってください。
- 電池パックの交換は、本商品の電源をOFFにし、30秒以上経ってから行ってください。間隔を空けずに交換を行うと、BATTERYランプが正しく表示されない場合があります。

**1** 電池パックの印字面を下にし、本商品の端子面と合わせるようにして、電池パックを取り付けます。

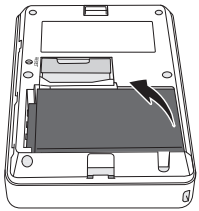


**2** リアカバーを少し開けた状態で本商品にセットし、矢印方向にスライドさせて取り付けます。




以上で電池パックの取り付けは完了です。
続いて、電池パックを充電します。

電池パックを取り外す際は、電池パックを矢印の方向に持ち上げてください。



# 充電のしかた

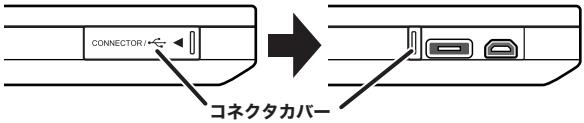
充電には、付属のACアダプタまたはUSBケーブルを使用します。
BATTERYランプで充電の状態がわかります。充電中は水色に点灯し、充電が完了すると青色に点灯または消灯します。充電時間は約240分です。

**⚠注意** ACアダプタまたはUSBケーブルは、必ず付属品を使ってください。

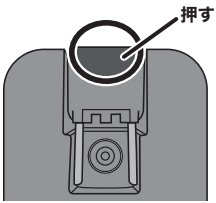
## ACアダプタで充電する場合

### 卓上クレードルから充電する

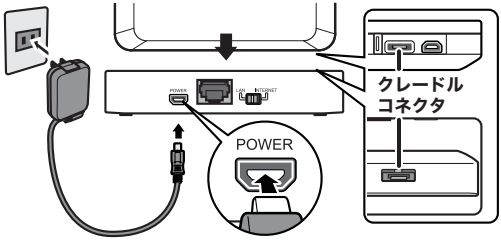
**1** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。




**2** ACアダプタのPUSHを押してプラグを出します。



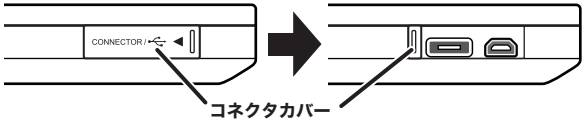
**3** ACアダプタを卓上クレードルの電源コネクタとコンセントに接続します。本商品を卓上クレードルに取り付けると、充電が始まります。




**メモ** コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、卓上クレードルに取り付けてください。無理に取り付けると破損する恐れがあります。

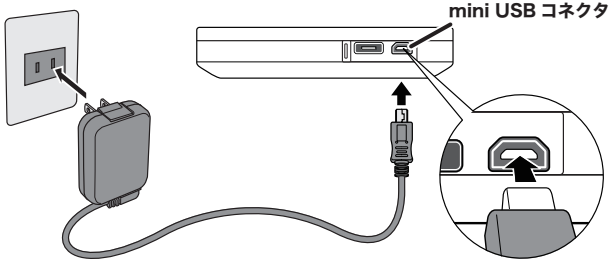
## 直接コンセントから充電する

**1** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。




**2** ACアダプタのPUSHを押してプラグを出します。

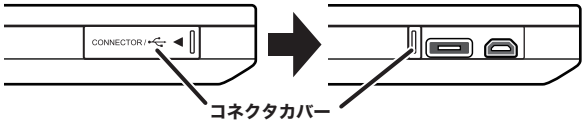
**3** ACアダプタを本商品のmini USBコネクタとコンセントに接続します。接続すると、充電が始まります。



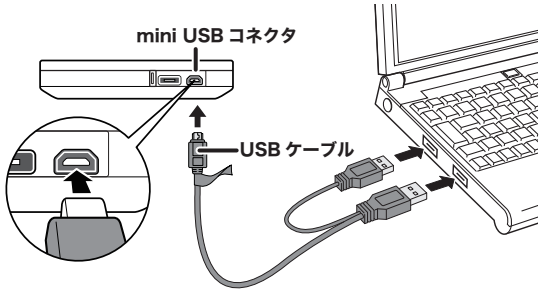

**メモ** コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、ACアダプタを接続してください。無理に接続すると破損する恐れがあります。

# USBケーブルで充電する場合

**1** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。



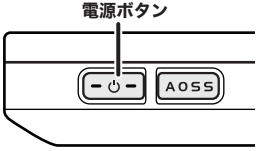

**2** 付属のUSBケーブルを本商品のmini USBコネクタとパソコン(USBポート2つ)に接続します。
接続すると、充電が始まります。




メモ
- コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、USBケーブルを接続してください。無理に接続すると破損する恐れがあります。
- 必ず付属のUSBケーブルを使用し、パソコン側のUSBポート2つに接続してください。1ポートだけでは正常に充電できないことがあります。
- USBハブの使用は推奨いたしません。直接パソコンのUSBポートから充電してください。

# 電源のON/OFF

電源のON/OFFは、本商品の電源ボタンで行います。




本商品の電源がOFFの状態で電源ボタンを約3秒間押し続けると、AOSS/DIAGランプが赤色に点灯し、電源がONになります。

本商品の動作中に約3秒間電源ボタンを押し続けると、AOSS/DIAGランプが赤色に点滅し、電源がOFFになります。

**メモ** 初期値では、本商品に無線機器が接続されていない状態が約１分間続くと、本商品が自動的にスタンバイ状態に移行します(※)。スタンバイ状態ではインターネット接続などは動作しなくなりますが、以下の条件の場合に通常状態へ復帰します。

- 本商品の電源ボタンを押す。
- 無線機器が本商品へ接続する。
- 本商品をクレードルに差し込む。
- ACアダプタまたはUSBケーブルで本商品を充電する。

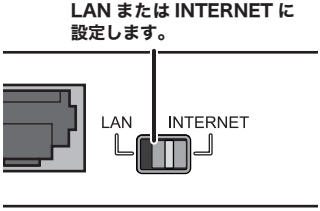
※ 以下に該当する場合は、スタンバイ状態へ移行しません。

- USBストレージ機能を「内蔵ストレージ」に設定している状態で、本商品をUSB接続している場合。
- 本商品が以下の状態で卓上クレードルに取り付けられている場合。
  - 切り替えスイッチが「INTERNET」に設定されている状態。
  - 切り替えスイッチが「LAN」で、有線ポートにLANケーブルが接続されている状態。

# 卓上クレードルへの取り付けかた

パソコンや他のネットワーク機器と本商品をLANケーブルでつなぐ場合は、付属の卓上クレードルを使用します。卓上クレードルへの取り付けは、以下の手順で行ってください。

**1** 卓上クレードル背面の切り替えスイッチをLANまたはINTERNETに設定します。



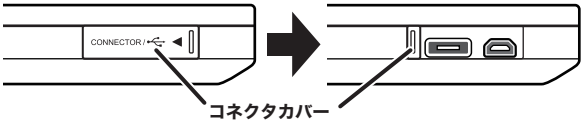

**メモ 「LAN」に設定する場合**

パソコンやNAS(ネットワーク対応ハードディスク)などと接続する場合。

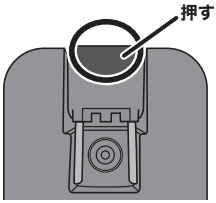
**「INTERNET」に設定する場合**

ご家庭のブロードバンドルーターやホテルの部屋に設置されているLAN端子などと接続する場合。

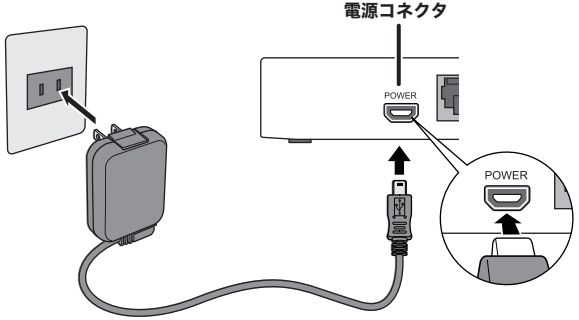
**2** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。



**3** ACアダプタのPUSHを押してプラグを出します。

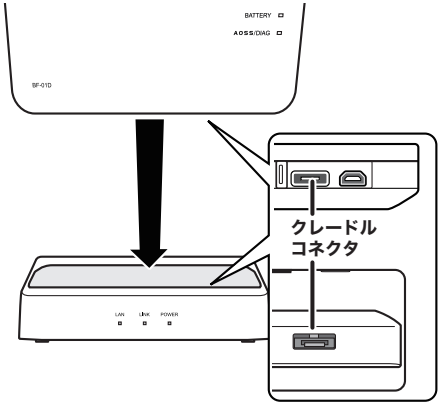



**4** ACアダプタを卓上クレードルの電源コネクタとコンセントに接続します。




メモ ACアダプタの接続は必須ではありませんが、ACアダプタを接続しておくと本商品を卓上クレードルに設置した際に、充電を行うことができます。ご家庭などの電源を確保できる場所で使用する場合は、ACアダプタを接続することをお勧めします。

## 5 本商品を卓上クレードルに取り付けます。

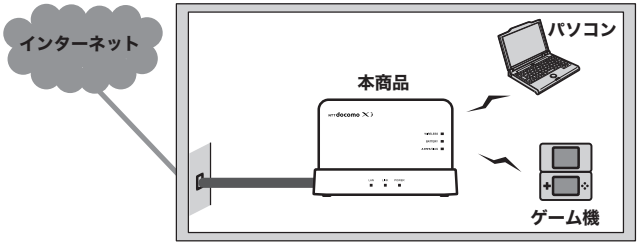



メモ
- コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、卓上クレードルに取り付けてください。無理に取り付けると破損する恐れがあります。
- 卓上クレードルへの取り付けは、確実に行ってください。確実に取り付けられていないと、正常に動作しない場合があります。その場合は、卓上クレードルから完全に取り外した後に、再度、確実に卓上クレードルに取り付け直してください。
- 卓上クレードルに取り付けてご利用いただく際には、インターネットなどへの通信が可能となるまでに多少の時間がかかる場合があります。しばらくお待ちいただいてからご利用ください。
- 卓上クレードルへの取り付けや取り外しは、3秒以上間隔を空けて行ってください。
- ACアダプタを接続している場合は、本商品を卓上クレードルに設置すると、自動的に充電が始まります。充電時間は約240分です。

以上で卓上クレードルへの取り付けは完了です。

# 卓上クレードルの便利な使いかた

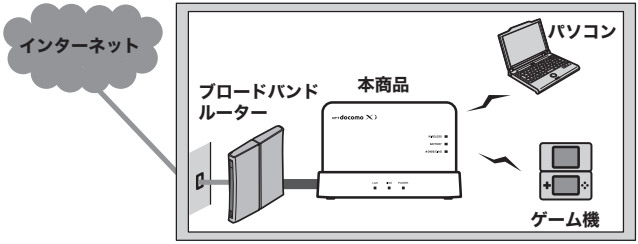
## 例1：ホテルやご家庭のLAN端子と接続




・卓上クレードルとLAN端子をLANケーブルでつなぎます。

・卓上クレードル背面のスイッチは、**「INTERNET」**にします。

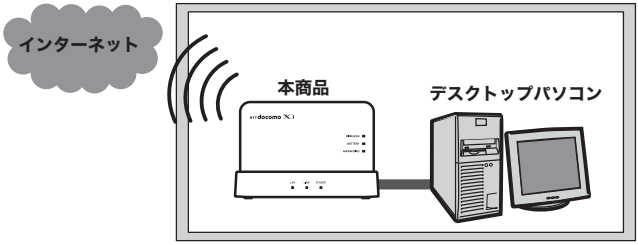
## 例2：ご家庭に設置済みのブロードバンドルーターに接続




・卓上クレードルとブロードバンドルーターをLANケーブルでつなぎます。

・卓上クレードル背面のスイッチは、**「INTERNET」**にします。

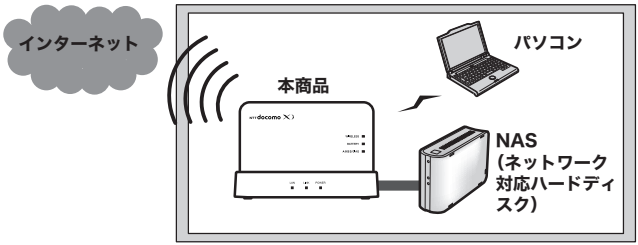
# 例3：デスクトップパソコンに接続




・卓上クレードルとデスクトップパソコンをLANケーブルでつなぎます。

・卓上クレードル背面のスイッチは、**「LAN」**にします。

# 例4：NAS(ネットワーク対応ハードディスク)に接続




・卓上クレードルとNAS(ネットワーク対応ハードディスク)をLANケーブルでつなぎます。

・卓上クレードル背面のスイッチは、**「LAN」**にします。

# 3 本商品との無線接続

## 本商品との無線接続手順について

本商品と各機器との無線接続手順については、以下のマニュアルを参照してください。

### Windowsパソコンとの無線接続

⇒ 本書の「付属ソフトウェアのインストール」(P55)以降を参照してください。

### iPadやiPod touch、ゲーム機などとの無線接続

⇒ 別紙の「かんたんセットアップマニュアル(ポータブル機器編)」を参照してください。

### Macintoshとの無線接続

⇒ 本書の「Macintoshの場合」(P73)を参照してください。

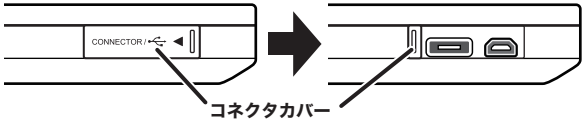
# 付属ソフトウェアのインストール

本商品本体には、本商品の設定画面を表示したり、無線機能を内蔵したパソコンを本商品に接続したりするソフトウェアが収録されています。Windowsパソコンと本商品を無線接続する前に、以下の手順でソフトをインストールしてください。

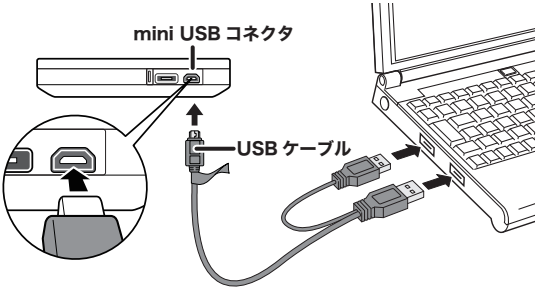
**メモ**
- ソフトは、Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XPに対応しています。
- インストールは、管理者権限のあるユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うと、正常にインストールできない場合があります。
- 本商品の設定画面の[管理設定]－[本体]の「USBストレージ機能」を初期値(ユーティリティーインストーラー)から変更している場合は、インストールができません。
- 起動中のソフトがある場合は、ソフトを終了してからインストールを行ってください。また、ウイルス対策ソフトなどのセキュリティーソフトがインストールされている場合は、必ずセキュリティーソフトを終了してからインストールを行ってください。
- 他社製無線接続ソフトがインストールされている場合は、事前に削除してください。

**1** 本商品の電源をONにします。

**2** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。



**3** 付属のUSBケーブルを本商品とパソコンに接続します。




メモ
- コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、USBケーブルを接続してください。無理に接続すると破損する恐れがあります。
- 初めて本商品とパソコンをUSBケーブルで接続したときは、ドライバーのインストールメッセージが表示されることがあります。ドライバーのインストールは自動的に完了します。

**4** [スタート]－[(マイ)コンピューター]を選択します。

**5** [BF-01D 専用ランチャー]をダブルクリックします。

**6** [Launcher.exe]をダブルクリックします。

メモ 「自動再生」画面や「BF-01D専用ランチャー」画面が表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」 → [Launcher.exe]をダブルクリックの順に実行してください。

**7** [ソフトのインストール]をクリックします。

**8** [インストール開始]をクリックし、「クライアントマネージャ」と「エアステーション設定ツール」をインストールします。

**メモ**
- 「クライアントマネージャ」は、パソコンを本商品に簡単に無線接続するためのソフトウェアです。クライアントマネージャをパソコンにインストールすると、本商品のAOSSボタンとクライアントマネージャ上のAOSSボタンを押すだけで、本商品とパソコンを無線接続することができます。
- 「エアステーション設定ツール」は、本商品の設定画面を簡単に表示するためのソフトウェアです。本商品とパソコンを接続して、エアステーション設定ツールを実行すると、本商品の設定画面を表示することができます。
- 以降の説明では、「クライアントマネージャ」および「エアステーション設定ツール」を使用しますので、両方ともインストールしてください。

**9** 以降は画面の指示に従ってインストールを行います。

以上でソフトウェアのインストールは完了です。

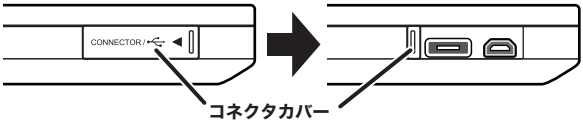
# Windows XPのパケット通信設定の最適化

Windows XPをお使いの場合は、以下の手順でBF-01D通信設定最適化ソフトを使用してパソコンの通信設定(W-TCP設定)を最適化してください。

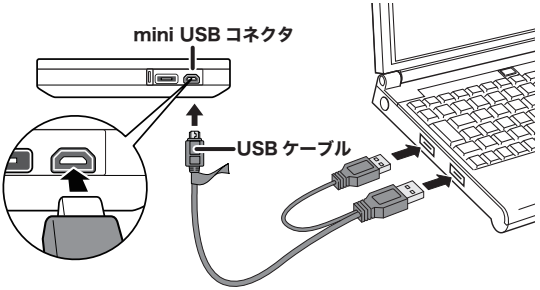
**メモ** Windows 7/Vistaをお使いの場合は、以下の設定は必要ありません。

**1** 本商品の電源をONにします。

**2** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。



**3** 付属のUSBケーブルを本商品とパソコンに接続します。




メモ
- コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、USBケーブルを接続してください。無理に接続すると破損する恐れがあります。
- 初めて本商品とパソコンをUSBケーブルで接続したときは、ドライバーのインストールメッセージが表示されることがあります。ドライバーのインストールは自動的に完了します。
- 本商品の設定画面の[管理設定]－[本体]の「USBストレージ機能」を初期値（ユーティリティーインストーラー）から変更している場合は、BF-01D通信最適化ソフトは使用できません。

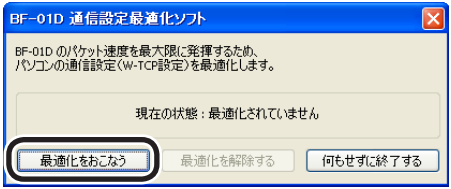
**4** [スタート]－[マイコンピュータ]を選択します。

**5** [BF-01D 専用ランチャー]をダブルクリックします。

**6** 「BF01DOPT」フォルダをダブルクリックします。

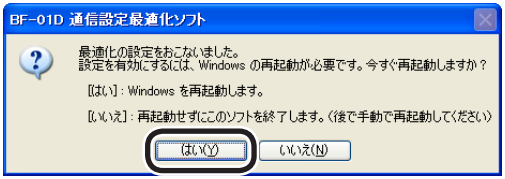
**7** 「BF01DOPT.exe」をダブルクリックします。

**8** [最適化をおこなう]をクリックします。




メモ 最適化を解除する場合は、上記の画面で[最適化を解除する]をクリックしてください。

**9** [はい]をクリックします。




以上で設定は完了です。

# パソコンとの無線LAN接続

ここでは例として、AOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って、本商品とWindowsパソコンを無線接続する手順を説明します。設定方法はWindowsのバージョンによって異なります。

**メモ** **その他の接続方法については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。**

### マルチセキュリティーについて

本商品は、WEPとWPA(またはWPA2)の2つの暗号化方式を同時に使用できるマルチセキュリティー機能に対応しています。
マルチセキュリティー機能は、お買い上げ時の状態では無効になっており、本商品と無線LAN端末がAOSSで接続される(または、本商品の設定画面で設定する)ことによって、有効になります。

※ マルチセキュリティー機能についての詳細は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。

# Windows 7/Vistaの場合

Windows 7/VistaパソコンでAOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。

**メモ** **AOSS/WPS(プッシュボタン式)設定は、パソコンと本商品を1対1で設定するため、設定中に別の機器をAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続することはできません。本商品1台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS(プッシュボタン式)接続が完了してから別の機器を接続してください。**

**1** **[スタート]−[(すべての)プログラム]−[BUFFALO]−[エアステーションユーティリティ]−[クライアントマネージャV]を選択します。**

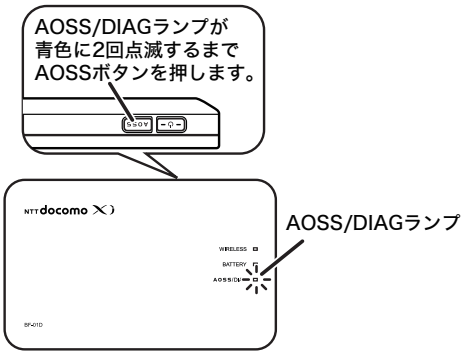
**2** 以下の画面が表示されたら、「接続先の作成」をクリックします。

**3** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

**4** 画面に表示されている自動セキュリティー設定ボタンをクリックします。

**5** 以下の画面が表示されたら、本商品のAOSSボタンをAOSS/DIAGランプが2回青色点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。

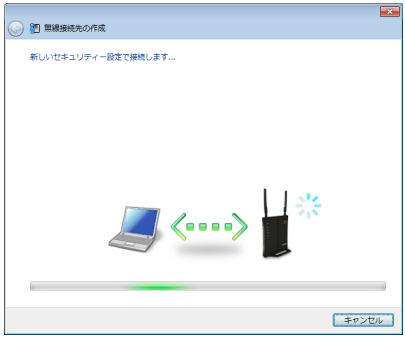
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品とAOSSボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。




**6** 自動的に本商品が検出され、接続されます。

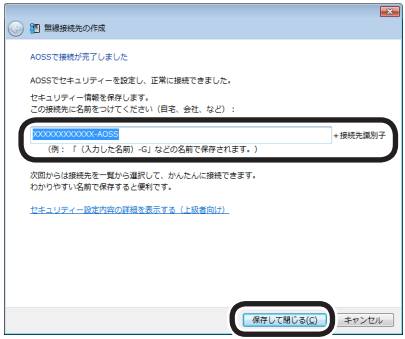
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

**7** 接続が完了するまで待ちます。



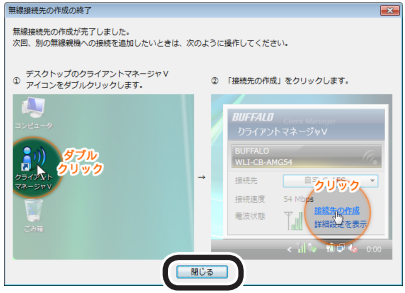

※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

**8** 「AOSSで接続が完了しました」または「WPSプッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[保存して閉じる]をクリックします。

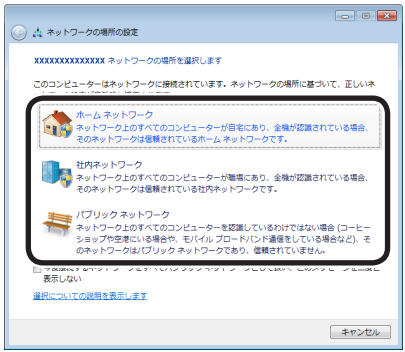



**メモ** 接続先名は、任意の名称を設定することができます。

**9** 「無線接続先の作成が完了しました。」と表示されたら、[閉じる]をクリックします。

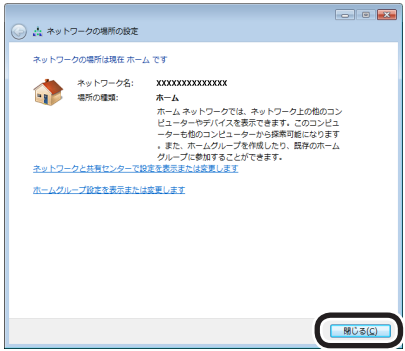



**10** 「ネットワークの場所の設定」という画面が表示された場合は、ご利用の環境にあった場所をクリックしてください。
（ここでは例として、「ホームネットワーク」をクリックします）



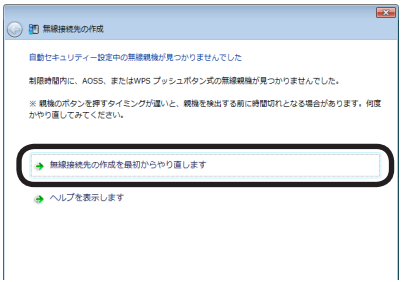
**11** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]または[続行]をクリックします。

**12** 以下の画面が表示されたら、[閉じる]をクリックします。




以上で本商品との接続は完了です。

**メモ** 本商品との接続に失敗した場合、本商品のAOSS/DIAGランプが約30分間青色に連続点滅し、以下のような画面が表示されます。この場合、「無線接続先の作成を最初からやり直します」をクリックして、もう一度手順4（P64）以降の操作を行ってください。



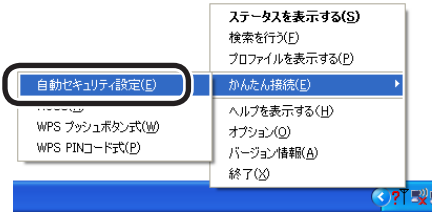

※ 画面は一例です。

# Windows XPの場合

Windows XPパソコンでAOSS/WPS(プッシュボタン式)を使って本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。

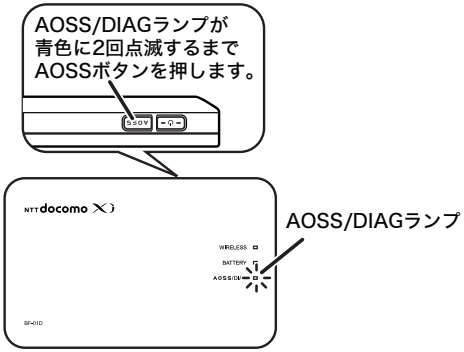
**メモ** AOSS/WPS(プッシュボタン式)設定は、パソコンと本商品を1対1で設定するため、設定中に別の機器をAOSS/WPS(プッシュボタン式)接続することはできません。本商品1台に対して複数の機器を接続するときは、AOSS/WPS(プッシュボタン式)接続が完了してから別の機器を接続してください。

**1** タスクトレイの アイコンを右クリックし、「かんたん接続」ー「自動セキュリティ設定」をクリックします。

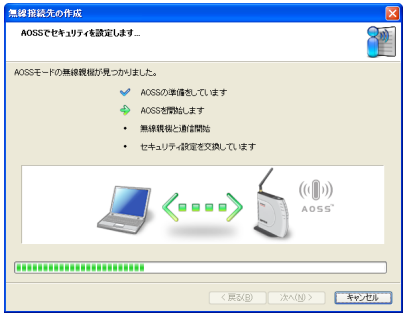


**2** 以下の画面が表示されたら、本商品のAOSSボタンをAOSS/DIAGランプが2回青色点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。

※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品とAOSSボタンの位置が異なりますので、あらかじめ位置をご確認ください。



## 3 自動的に本商品が検出され、接続されます。

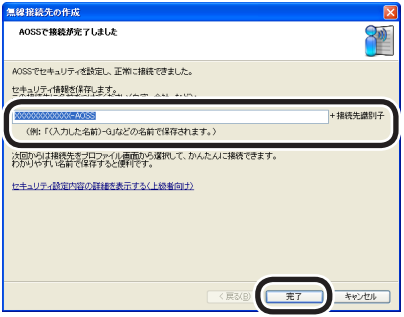



※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

## 4 接続が完了するまで待ちます。

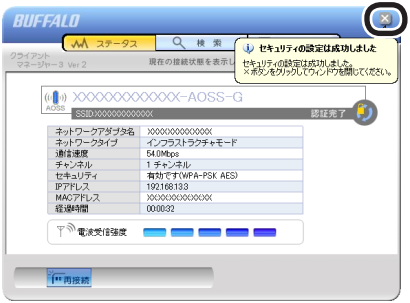
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。

**5** 「AOSSで接続が完了しました」または「WPSプッシュボタン式で接続が完了しました」と表示されたら、接続先の名前を確認し、[完了]をクリックします。



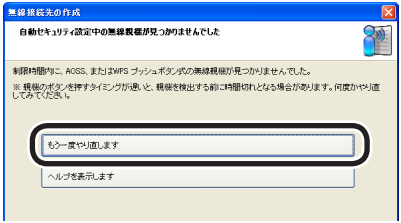

**メモ** 接続先名は、任意の名称を設定することができます。

**6** 「セキュリティの設定は成功しました」と表示されたら、[×]をクリックして画面を閉じます。




以上で本商品との接続は完了です。

メモ 本商品との接続に失敗した場合、本商品のAOSS/DIAGランプが約30分間青色に連続点滅し、以下のような画面が表示されます。この場合、「もう一度やり直します」をクリックして、手順２（P70）以降の操作を行ってください。



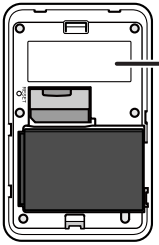

※ 画面は一例です。

# Macintoshの場合

Macintoshで本商品に接続する場合は、以下の手順に従ってください。

メモ 以下の手順で接続できない場合は、SSIDや暗号化キーがお買い上げ時の状態から変更されている可能性があります。その場合は、「現在のSSIDや暗号化キーを確認したいときは」（P150）を参照してください。

**1** 本商品の電源をOFFにした後、リアカバーを取り外し、本商品のSSID（12桁の値）と暗号化キー（KEY：13桁の値）を確認します。



**お買い上げ時のSSID（12桁の値）と暗号化キー（KEY：13桁の値）は、この初期値ラベルに記載されています。**

**2** リアカバーを取り付けて、本商品の電源をONにします。

**3** Macintosh画面上部のAirMacアイコンをクリックし、「AirMacを入にする」を選択します。選択すると、周囲の無線ネットワークが自動的に検出されます。

**4** 手順１で確認したSSIDと同じ値をリストから選択します。

メモ SSIDがリスト表示されない場合は、再度検索を行ってください。それでも本商品のSSIDが表示されない場合は、Macintoshを本商品に近づけてください。また、本商品にANY接続拒否設定を行っている場合は、解除してください。

**5** パスワードの入力画面が表示されたら、手順１で確認した暗号化キーを入力し、「このネットワークを記憶」にチェックマークを付けて、[OK]をクリックします。

**6** 手順４で選択したSSIDの横にチェックマークが付いたら、無線接続は完了です。

以上で本商品との接続は完了です。

# 倍速モードの設定をする

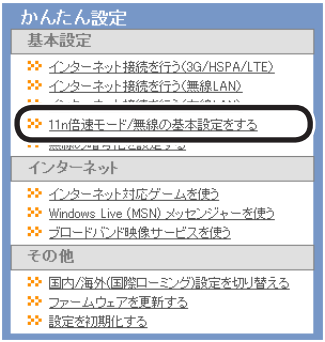
本商品では、無線LAN通信で利用する通信チャンネルの幅を従来の20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、従来比約２倍の通信速度（理論値最大150Mbps）を実現する倍速モードを搭載しています。
倍速モードを有効にする場合は、以下の手順で設定を行ってください。

**メモ**
- 倍速モードは、お買い上げ時の状態では無効に設定されています。
- 倍速モードで通信するには、本商品と通信する機器にも設定が必要な場合があります。
- 倍速モードで通信する際は、無線チャンネルを２つ使用します。周囲に多くの無線機器があるなど、電波が混雑している環境では、期待した効果が得られない場合があります。

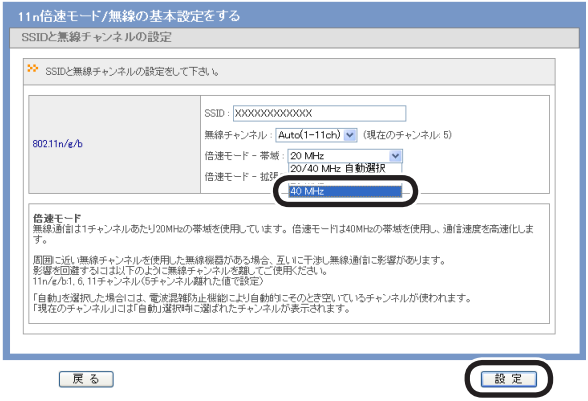
## パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」（P79）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「11n倍速モード/無線の基本設定をする」をクリックします。



**3** 倍速モードの帯域を「40MHz」に設定し、[設定]をクリックします。



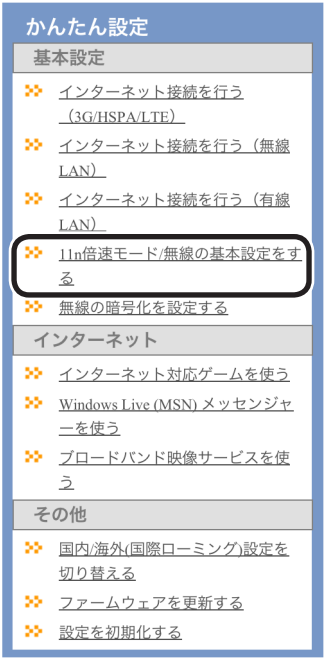

**4** [設定完了]をクリックします。

以上で設定は完了です。

# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「11n倍速モード/無線の基本設定をする」をクリックします。



**3** 倍速モードの帯域を「40MHz」に設定し、[設定]をクリックします。

**4** [設定完了]をクリックします。

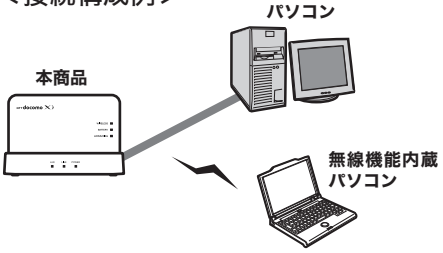
以上で設定は完了です。

# 4 インターネット接続設定

## 設定画面を表示する

本商品の設定は、設定画面から行います。設定画面は、本商品に接続したパソコンなどで表示しますので、「パソコンとの無線LAN接続」(P62)または別紙の「かんたんセットアップマニュアル　ポータブル機器編」を参照して各機器と無線LAN接続するか、卓上クレードルを使ってLANケーブルでパソコンと接続してください。接続後は、以下の手順で設定画面を表示できます。

＜接続構成例＞




## Windowsパソコンで設定画面を表示する

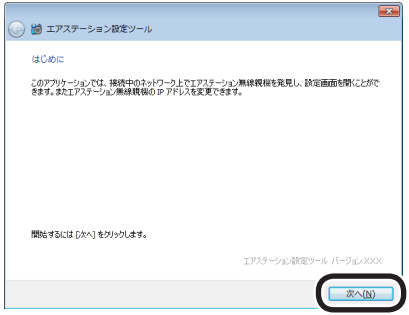
メモ
- 以下の手順を行う前にエアステーション設定ツールがインストールされている必要があります。エアステーション設定ツールのインストール方法は、「付属ソフトウェアのインストール」(P55)を参照してください。
- エアステーション設定ツールは、Windows 7/Vista/XPに対応しています。

**1** 本商品と設定用パソコンを無線または有線で接続します。

**メモ**
- 無線で接続する場合は、「パソコンとの無線LAN接続」(P62)に記載の手順で接続してください。
- 有線で接続する場合は、「卓上クレードルへの取り付けかた」(P49)に記載の手順で本商品を卓上クレードルに取り付けてください。また、卓上クレードル背面の切り替えスイッチを「LAN」に設定し、パソコンと接続してください。

**2** [スタート]－[(すべての)プログラム]－[BUFFALO]－[エアステーションユーティリティ]－[エアステーション設定ツール]を選択して、エアステーション設定ツールを起動します。

**3** 以下の画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。




**メモ** パソコンに複数のネットワークアダプタが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプタを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

**4** 以下の画面が表示されたら、本商品を選択して、[次へ]をクリックします。

**メモ** 本商品のお買い上げ時のSSIDは、「初期値ラベル」(P36)をご確認ください。

**5** [設定画面を開く]をクリックします。

メモ ・本商品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、以下の画面が表示されます。その場合は、[このパソコンのIPアドレスを設定する]→[推奨設定(DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する)]の順にクリックしてください。しばらくすると、パソコンに新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。

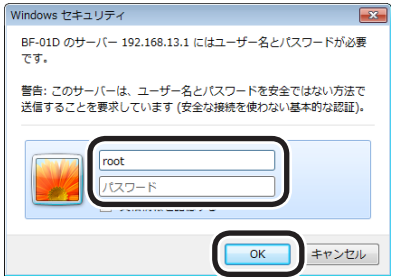
※ 画面上の製品イメージは、例として記載しています。本商品にはROUTERランプはありません。

・「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示された場合は、[完了]をクリックしてください。

## 6 本商品のトップ画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。

メモ 本商品の設定画面に同時にログインできるユーザーは１人のみです。ログイン後、無通信のまま５分経過するか、画面右上の「ログアウト」をクリックしない限り、ログイン状態は保持されます。
「他のユーザーが、すでにログインしています」というメッセージが表示される場合は、５分後に再度ログインするか、本商品の電源を入れ直してからログインしてください。

**7** ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたら、ユーザー名に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。




**メモ**
- 本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。セキュリティー保護のため、パスワードを設定することをおすすめします。パスワードの設定方法は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。
- パスワードを設定している場合は、上記の画面でパスワードを入力してください。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ(P36)を押して、設定を初期化してください。その際、パスワード以外の値も初期値に戻りますのでご注意ください。

## 8 設定画面が表示されます。

設定画面が表示されたら、インターネット接続設定を行います。接続設定は、ご利用のサービスによって異なります。それぞれ以下のページを参照して設定を行ってください。

- NTTドコモのFOMA/Xi回線への接続設定(P90)
- NTTドコモの公衆無線LANサービスへの接続設定(P97)
- NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ・スポットへの接続設定(P103)
- NTTコミュニケーションズのホットスポットへの接続設定(P110)
- FREESPOT協議会のフリースポットへの接続設定(P117)
- ご家庭に設置済みの親機への接続設定(P122)
- ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合(P129)

# Macintoshで設定画面を表示する

メモ Macintoshから本商品の設定画面を表示する場合は、本商品のLAN側IPアドレスの値（初期値では192.168.13.1）が必要です。

**1** 本商品とMacintoshを無線または有線で接続します。

メモ ・無線で接続する場合は、「Macintoshの場合」（P73）に記載の手順で接続してください。

・Macintoshと有線で接続する場合は、「卓上クレードルへの取り付けかた」(P49)に記載の手順で本商品を卓上クレードルに取り付けてください。また、卓上クレードル背面の切り替えスイッチを「LAN」に設定してください。

**2** ブラウザを起動し、ブラウザのアドレス欄に「192.168.13.1」と入力して、本商品の設定画面にアクセスします。

メモ 本商品のLAN側IPアドレスの初期値は「192.168.13.1」です。LAN側IPアドレスを任意の値に変更した場合は、変更後の値を入力してください。

**3** 本商品のトップ画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。

メモ 本商品の設定画面に同時にログインできるユーザーは１人のみです。ログイン後、無通信のまま５分経過するか、画面右上の「ログアウト」をクリックしない限り、ログイン状態は保持されます。
「他のユーザーが、すでにログインしています」というメッセージが表示される場合は、５分後に再度ログインするか、本商品の電源を入れ直してからログインしてください。

**4** 名前とパスワードの入力画面が表示されたら、名前に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。

**メモ**
- 本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。セキュリティー保護のため、パスワードを設定することをおすすめします。パスワードの設定方法は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ(P36)を押して、設定を初期化してください。その際、パスワード以外の値も初期値に戻りますのでご注意ください。
- Safari 4.0.4以前をお使いの場合、本商品の設定画面に再ログインする際に名前とパスワードの入力画面が表示されないことがあります。

**5** 設定画面が表示されます。

設定画面が表示されたら、インターネット接続設定を行います。接続設定は、ご利用のサービスによって異なります。それぞれ以下のページを参照して設定を行ってください。

・NTTドコモのFOMA/Xi回線への接続設定（P90）
・NTTドコモの公衆無線LANサービスへの接続設定（P97）
・NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ・スポットへの接続設定（P103）
・NTTコミュニケーションズのホットスポットへの接続設定（P110）
・FREESPOT協議会のフリースポットへの接続設定（P117）
・ご家庭に設置済みの親機への接続設定（P122）
・ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合（P129）

# ポータブル機器で設定画面を表示する

メモ ポータブル機器から本商品の設定画面を表示する場合は、本商品のLAN側IPアドレスの値（初期値では192.168.13.1）が必要です。

**1** 本商品とポータブル機器を無線で接続します。

メモ 別紙の「かんたんセットアップマニュアル　ポータブル機器編」に記載の手順で接続してください。

**2** ブラウザを起動し、ブラウザのアドレス欄に「192.168.13.1」と入力して、本商品の設定画面にアクセスします。

メモ 本商品のLAN側IPアドレスの初期値は「192.168.13.1」です。LAN側IPアドレスを任意の値に変更した場合は、変更後の値を入力してください。

**3** 本商品のトップ画面が表示されたら、右上の「ログイン」をクリックします。

メモ 本商品の設定画面に同時にログインできるユーザーは１人のみです。ログイン後、無通信のまま５分経過するか、画面右上の「ログアウト」をクリックしない限り、ログイン状態は保持されます。
「他のユーザーが、すでにログインしています」というメッセージが表示される場合は、５分後に再度ログインするか、本商品の電源を入れ直してからログインしてください。

**4** ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたら、名前に「root」(小文字)、パスワードを空欄にして[OK]をクリックします。

メモ
- 本商品は、お買い上げ時はパスワードが設定されていません。セキュリティー保護のため、パスワードを設定することをおすすめします。パスワードの設定方法は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。
- 設定したパスワードを忘れてしまった場合は、リセットスイッチ(P36)を押して、設定を初期化してください。その際、パスワード以外の値も初期値に戻りますのでご注意ください。
- お使いのブラウザによっては、本商品の設定画面に再ログインする際にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されないことがあります。

**5** 設定画面が表示されます。

設定画面が表示されたら、インターネット接続設定を行います。接続設定は、ご利用のサービスによって異なります。それぞれ以下のページを参照して設定を行ってください。


- NTTドコモのFOMA/Xi回線への接続設定(P90)
- NTTドコモの公衆無線LANサービスへの接続設定(P97)
- NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ・スポットへの接続設定(P103)
- NTTコミュニケーションズのホットスポットへの接続設定(P110)
- FREESPOT協議会のフリースポットへの接続設定(P117)
- ご家庭に設置済みの親機への接続設定(P122)
- ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合(P129)

# FOMA/Xi回線への接続設定をする

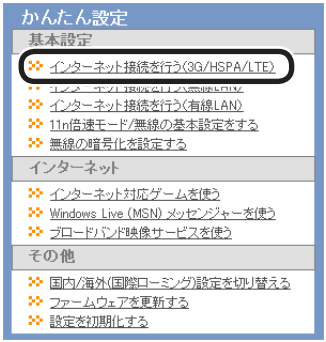
NTTドコモのFOMA回線およびXi回線への接続設定は、以下の手順で行います。

**メモ**
- 本商品はお買い上げ時にmopera Uのアクセスポイントに接続されるように設定されています。mopera UのUスタンダードプランをご利用の場合、以下の設定は不要です。
- FOMA/Xi回線をご利用いただく場合は、mopera UなどのXiデータ通信専用プラン対応のプロバイダ契約が別途必要です。
- mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。mopera Uのサービス内容については、mopera Uのホームページ（http://www.mopera.net/）をご確認ください。

## パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」（P79）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（3G/HSPA/LTE）」をクリックします。

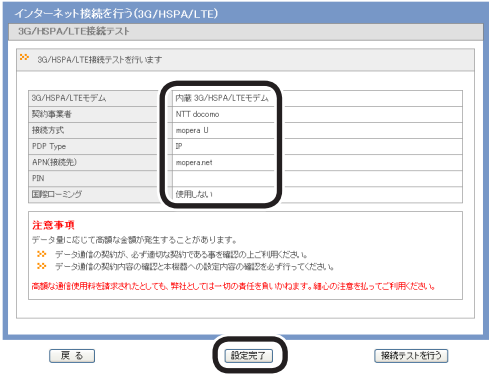


**3** 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。

**4** 「Internet接続に3G/HSPA/LTEを利用する」にチェックマークがついていることを確認し、接続方式、APN(接続先)、ユーザー名、パスワード、PIN、国際ローミングを必要に応じて設定して、[次へ]をクリックします。

**メモ**
- 上記の設定は、当社またはプロバイダから指定された内容を設定してください。
- PINコードの設定をしているドコモUIMカードをお使いの場合は、PINコードの入力が必要です。
- 国際ローミングについての詳細は、本書の５章「海外利用」(P137)を参照してください。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。




**メモ** 本設定をFOMA回線およびXi回線のエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、当社またはプロバイダから指定された内容をご確認の上、手順2以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

### FOMA/Xi回線利用時のご注意

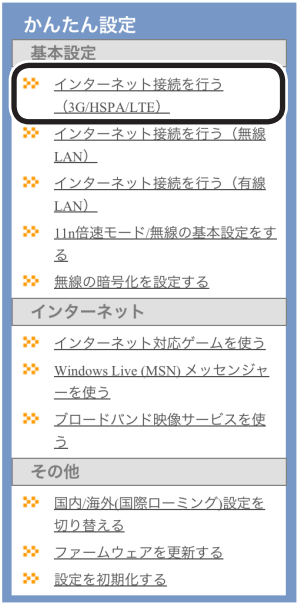
・画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額の通信料がかかりますのでご注意ください。

・ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客様(当日を含む直近3日間のデータ通信量が約1GB以上)は、それ以外のお客様と比べて通信が遅くなることがあります。なお、一定時間内または1回の接続で大量のデータ通信があった場合、長時間接続した場合、一定時間内に連続で接続した場合は、その通信が中断されることがあります。

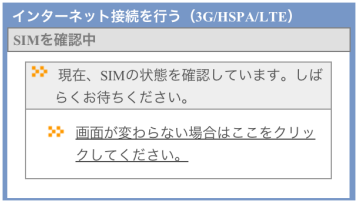
# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

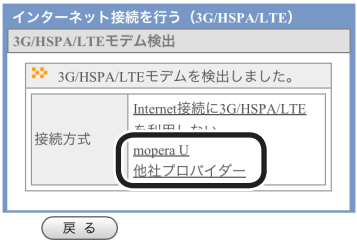
**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(3G/HSPA/LTE)」をクリックします。



**3** 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。

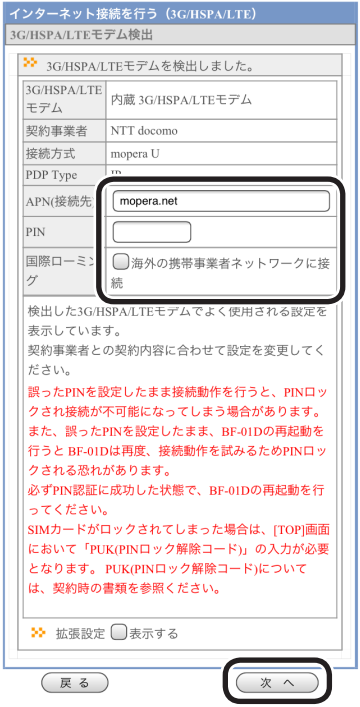



**4** 接続方式を選択します。




**メモ** 接続方式は、当社またはプロバイダから指定された内容を設定してください。

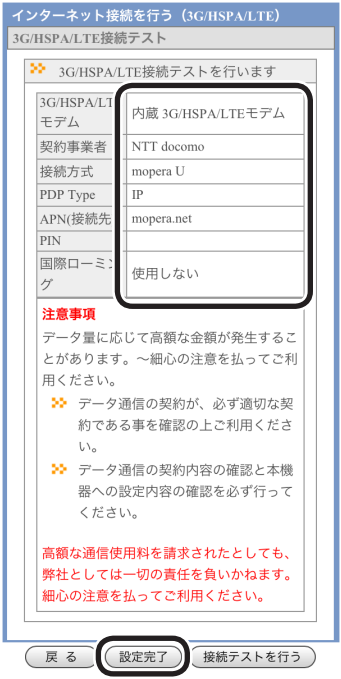
## 5 APN(接続先)、ユーザー名、パスワード、PIN、国際ローミングを必要に応じて設定して、[次へ]をクリックします。




**メモ**

- 左記の設定は、当社またはプロバイダから指定された内容を設定してください。
- PINコードの設定をしているドコモUIMカードをお使いの場合は、PINコードの入力が必要です。
- 国際ローミングについての詳細は、本書の５章「海外利用」(P137)を参照してください。

## 6 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。




**メモ**

本設定をFOMA回線およびXi回線のエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、当社またはプロバイダから指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

### FOMA/Xi回線利用時のご注意

・画像を多く含むホームページの閲覧、大容量ダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと、高額の通信料がかかりますのでご注意ください。

・ネットワークの混雑状況によって、通信が遅くなる、または接続しづらくなることがあります。また、特にご利用の多いお客様（当日を含む直近3日間のデータ通信量が約1GB以上）は、それ以外のお客様と比べて通信が遅くなることが

あります。なお、一定時間内または1回の接続で大量のデータ通信があった場合、長時間接続した場合、一定時間内に連続で接続した場合は、その通信が中断されることがあります。

# NTTドコモの公衆無線LANサービスへの接続設定をする

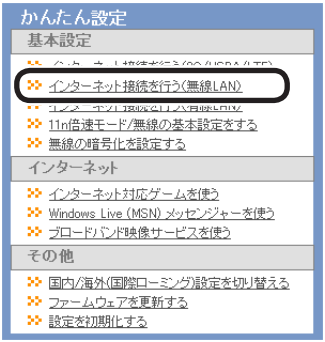
NTTドコモのMzoneやmopera Uへの接続設定は、以下の手順で行います。

**メモ** mopera Uで公衆無線LANサービスをご利用いただく場合は、U「公衆無線LAN」コースへの申し込みが必要です。サービスの概要や料金については、ドコモのホームページ(http://www.mopera.net/service/course/wlan/index.html)を参照してください。

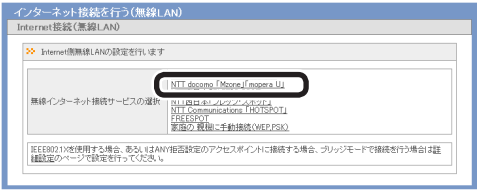
## パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



**3** NTT docomo「Mzone」「mopera U」をクリックします。



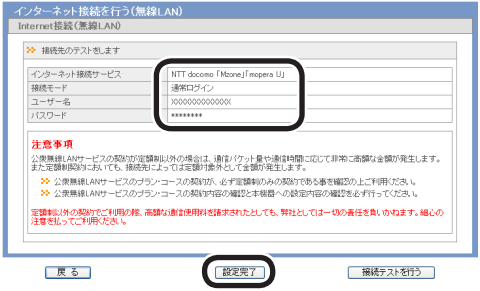

**4** ご利用になる接続モード、ユーザー名、パスワード設定などを行い、[設定]をクリックします。

**メモ** 上記の設定は、Mzoneまたはmopera Uご契約時に指定された内容を設定してください。

**Mzone利用時のご注意**

Mzone日額プランをご利用のお客様は、高額請求が発生する場合がありますのでご注意ください。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。




**メモ**

・本設定をMzoneまたはmopera Uのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、Mzoneやmopera Uのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順2以降を行ってください。

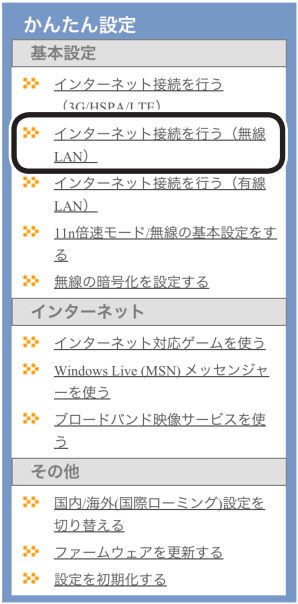
・接続テストは通信料が発生しますのでご注意ください。

以上で設定は完了です。

# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



**3** NTT docomo「Mzone」「mopera U」をクリックします。

**4** ご利用になる接続モード、ユーザー名、パスワード設定などを行い、[設定]をクリックします。

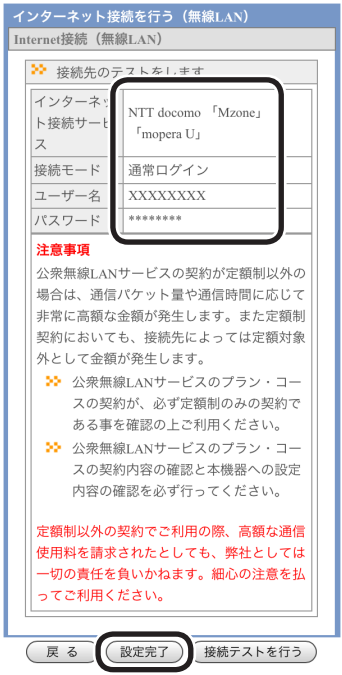
**メモ**

左記の設定は、Mzoneまたはmopera Uご契約時に指定された内容を設定してください。

**Mzone利用時のご注意**

Mzone日額プランをご利用のお客様は、高額請求が発生する場合がありますのでご注意ください。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。




以上で設定は完了です。

**メモ**

・本設定をMzoneまたはmopera Uのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、Mzoneやmopera Uのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

・接続テストは通信料が発生しますのでご注意ください。

# フレッツ・スポットへの接続設定をする

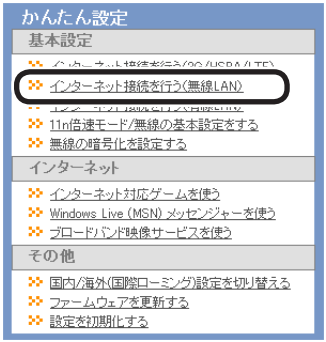
NTT東日本またはNTT西日本のフレッツ・スポットへの接続設定は、以下の手順で行います。

**メモ** フレッツ・スポットをご契約の際、フレッツ・スポットに接続する機器のMACアドレスを申請する必要があります。申請に必要なMACアドレスは、本商品の初期値ラベル(P36)に記載のMACとなります。

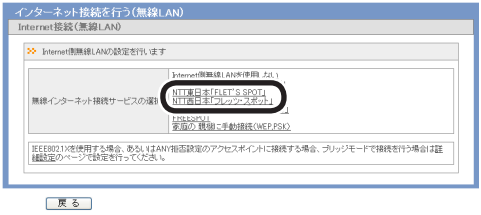
## パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



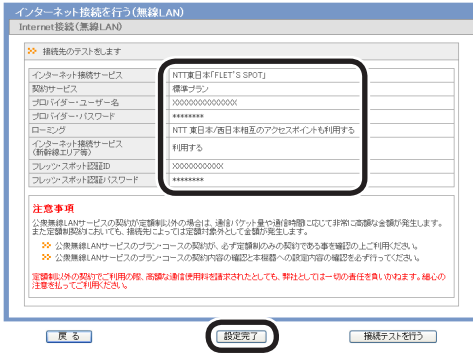
**3** NTT東日本「FLET'S SPOT」またはNTT西日本「フレッツ・スポット」をクリックします。




**4** ご契約サービスの種類、プロバイダー・ユーザー名、プロバイダー・パスワード、ローミング、インターネット接続サービス(新幹線エリア等)を「利用する」に設定し、フレッツ・スポット認証IDおよびフレッツ・スポット認証パスワードを入力します。
設定内容の入力が完了したら[設定]をクリックします。

**メモ**
- 上記の設定は、フレッツ・スポットご契約時に指定された内容を設定してください。
- 手順3(P104)にて「NTT西日本「フレッツ・スポット」」を選択した際に、「インターネット接続サービス(新幹線エリア等)」のチェックボックスが表示されますが、2012年2月現在はご利用になれません。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。



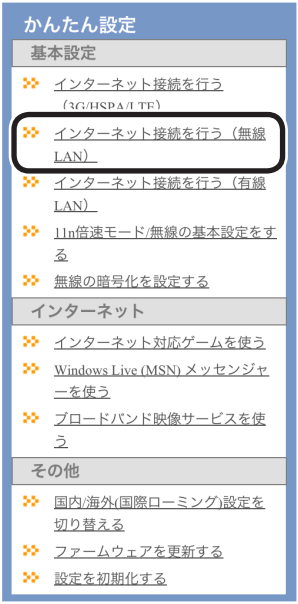

**メモ** 本設定をフレッツ・スポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、フレッツ・スポットのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

# ポータブル機器で設定する場合

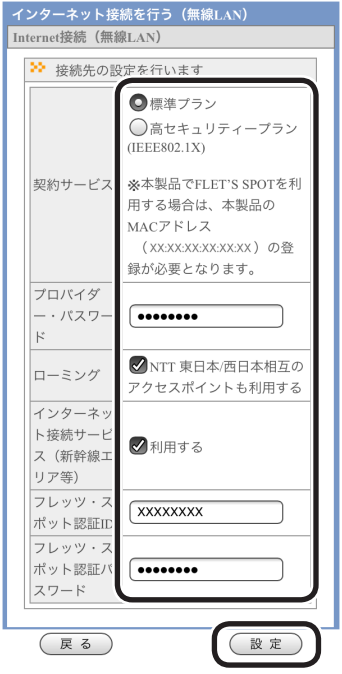
**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



**3** NTT東日本「FLET'S SPOT」またはNTT西日本「フレッツ・スポット」をクリックします。

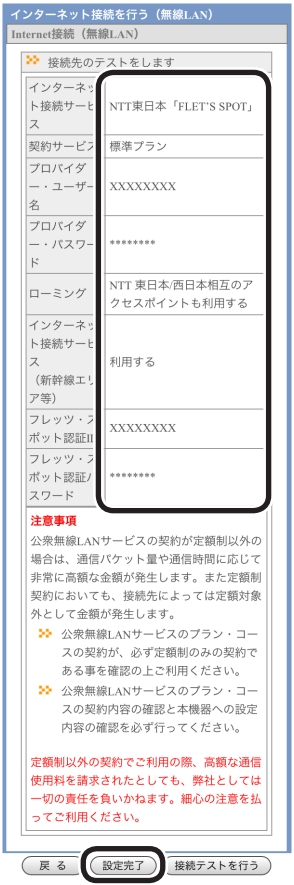
**4** ご契約サービスの種類、プロバイダー・ユーザー名、プロバイダー・パスワード、ローミング、インターネット接続サービス（新幹線エリア等）を「利用する」に設定し、フレッツ・スポット認証IDおよびフレッツ・スポット認証パスワードを入力します。
設定内容の入力が完了したら[設定]をクリックします。




**メモ**

- 左記の設定は、フレッツ・スポットご契約時に指定された内容を設定してください。
- 手順３（P107）にて「NTT西日本「フレッツ・スポット」」を選択した際に、「インターネット接続サービス（新幹線エリア等）」のチェックボックスが表示されますが、2012年2月現在はご利用になれません。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。




以上で設定は完了です。

**メモ**

本設定をフレッツ・スポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、フレッツ・スポットのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

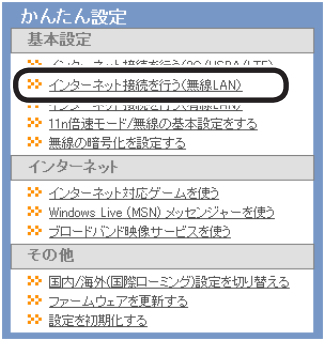
# ホットスポットへの接続設定をする

NTTコミュニケーションズのホットスポットへの接続設定は、以下の手順で行います。

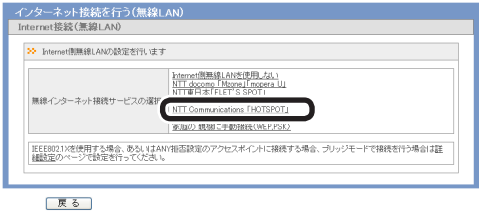
## パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



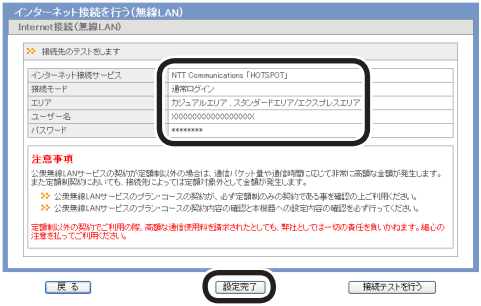
**3** NTT Communications「HOTSPOT」をクリックします。




**4** ご契約の接続モード、エリア、ユーザー名、パスワード設定を行い、[設定]をクリックします。

**メモ** 上記の設定は、ホットスポットご契約時に指定された内容を設定してください。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。



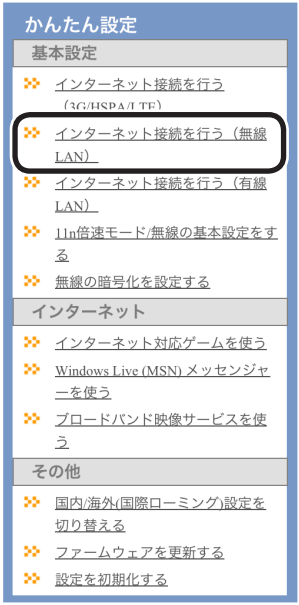

**メモ** 本設定をホットスポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、ホットスポットのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

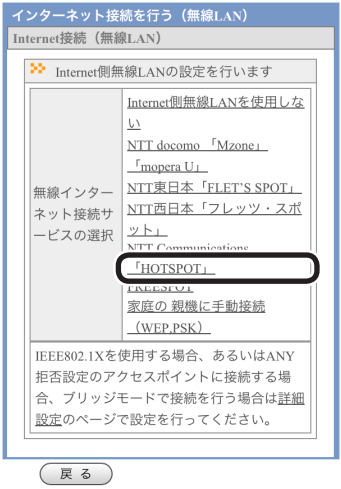
# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

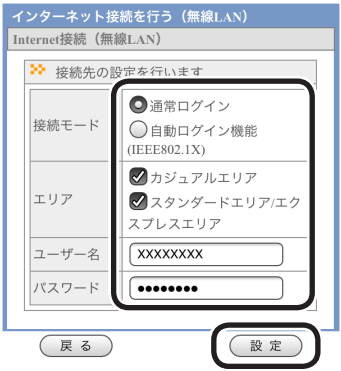
**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



## 3 NTT Communications「HOTSPOT」をクリックします。



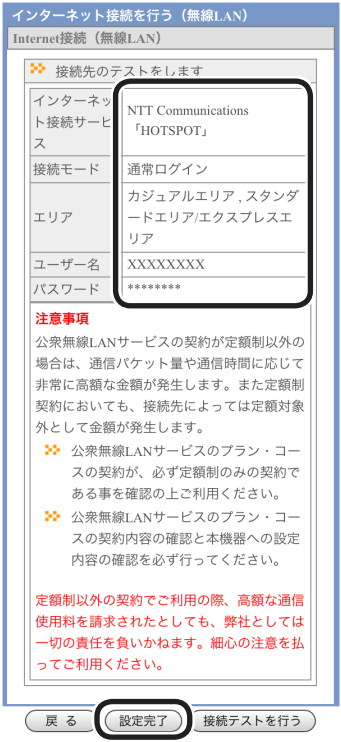
**4** ご契約の接続モード、エリア、ユーザー名、パスワード設定を行い、[設定]をクリックします。




**メモ**

左記の設定は、ホットスポットご契約時に指定された内容を設定してください。

## 5 設定内容を確認し、[設定完了]をクリックします。




以上で設定は完了です。

**メモ**

本設定をホットスポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、ホットスポットのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

# フリースポットへの接続設定をする

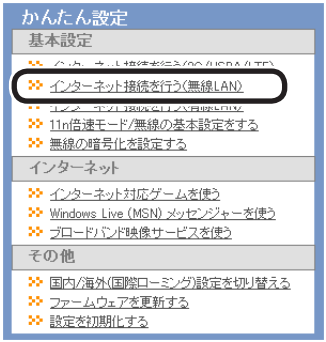
FREESPOT協議会のフリースポットへの接続設定は、以下の手順で行います。

**メモ**
- 本商品をフリースポットでご利用になる際、利用者のメールアドレスと本商品のMACアドレスの事前登録が必要な場合があります。事前登録に必要なMACアドレスは、本商品の初期値ラベル（P36）に記載のMACとなります。
- 事前登録についての詳細は、ホームページ（http://www.freespot.com/users/jizentouroku/）を参照してください。

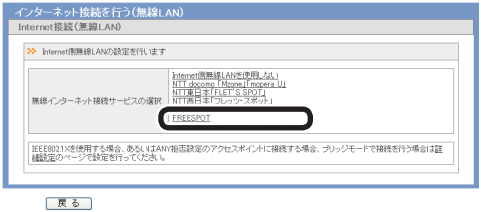
## パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」（P79）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

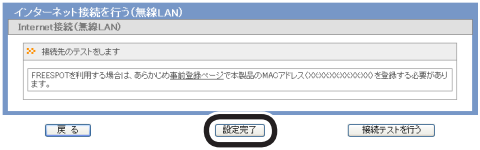
**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（無線LAN）」をクリックします。



## 3 FREESPOTをクリックします。




## 4 [設定完了]をクリックします。



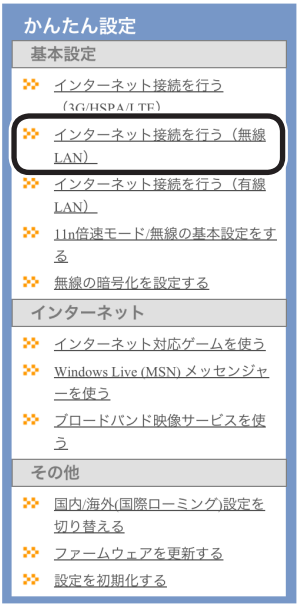

**メモ** 本設定をフリースポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、本商品の事前登録を行っているかをご確認の上、手順2以降を行ってください。

以上で設定は完了です。

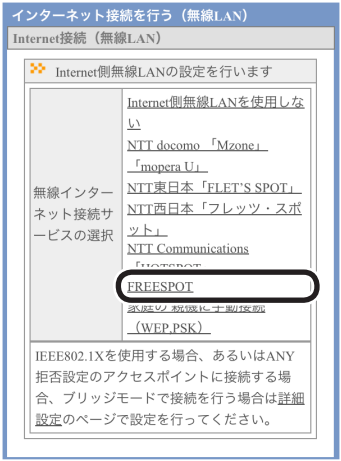
# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

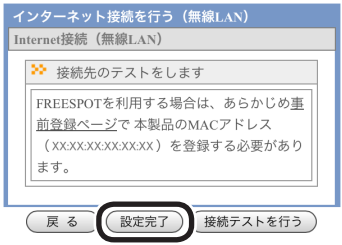
**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



## 3 FREESPOTをクリックします。



## 4 [設定完了]をクリックします。




**メモ**

本設定をフリースポットのサービスエリア内で行っている場合は、上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。接続テストに失敗した場合は、[再試行]をクリックして、改めて接続テストを行ってください。再度、接続テストに失敗した場合は、[設定完了]をクリックし、ホットスポットのご契約時に指定された内容をご確認の上、手順２以降を行ってください。

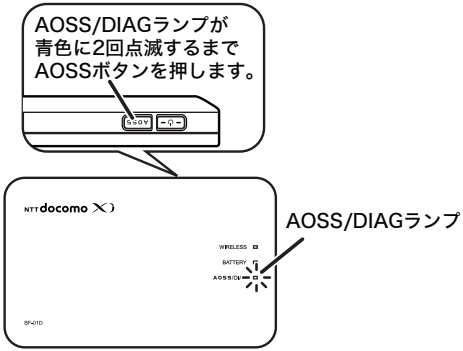
以上で設定は完了です。

# ご家庭に設置済みの親機への接続設定をする

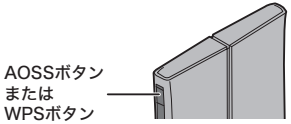
ご家庭に設置済みの親機への無線接続は、AOSS/WPS（プッシュボタン式）で行う方法と本商品の設定画面で無線親機を検索して接続する方法があります。
以下の手順にしたがってください。

## AOSS/WPS（プッシュボタン式）接続する場合

**1** 本商品のAOSSボタンをAOSS/DIAGランプが2回青色点滅するまで押し続けます。ランプが点滅したら、ボタンから手を放します。



**2** ご家庭の親機のAOSSボタンまたはWPSボタンを押します。




ご家庭に設置済みの
無線親機

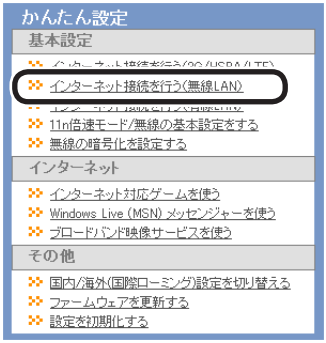
**3** しばらくして、本商品のAOSS/DIAGランプが緑色に点灯します。

**4** その後しばらくして、WIRELESSランプが緑色に点灯することを確認します。

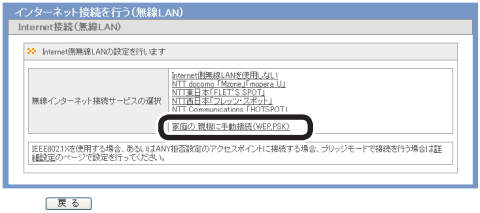
# パソコンで無線親機を検索して接続する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

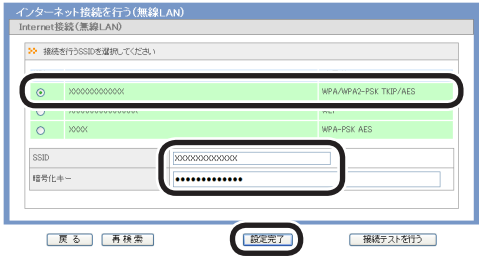
**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。




**3** 「家庭の親機に手動接続(WEP, PSK)」をクリックします。



**4** 検索された無線親機を選択し、無線親機に設定されている暗号化キーを入力して[設定完了]をクリックします。



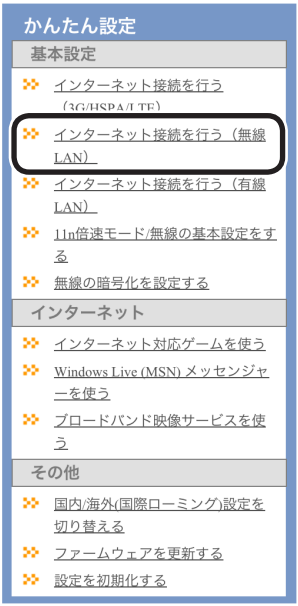

**メモ**
- 接続先の無線親機のSSIDが表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。
- 上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
  接続テストに失敗した場合は、[再検索]をクリックして手順4へ戻り、SSIDと暗号化キーを再度入力して接続テストを行ってください。
- オンラインゲーム、インスタント・メッセンジャー、UPnP対応ソフト、ダイナミックDNSなどを使用する場合は、リファレンスガイドを参照して、本商品をブリッジモードに切り替えてください。参照方法は、本書P162をご覧ください。

以上で設定は完了です。

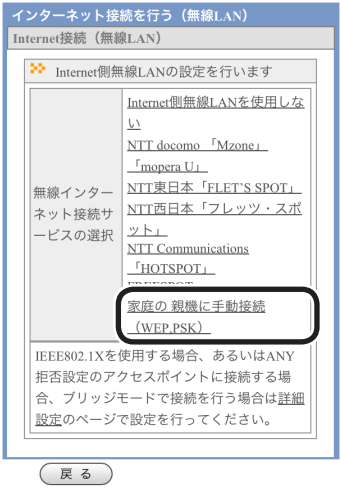
# ポータブル機器で無線親機を検索して接続する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

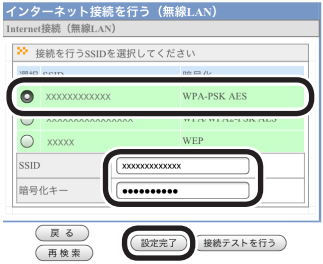
**2** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(無線LAN)」をクリックします。



## 3 「家庭の親機に手動接続(WEP, PSK)」をクリックします。



**4** 検索された無線親機を選択し、無線親機に設定されている暗号化キーを入力して[設定完了]をクリックします。




メモ
- 接続先の無線親機のSSIDが表示されない場合は、[再検索]をクリックしてください。
- 上記の画面で[接続テストを行う]をクリックすると、接続テストを行うことができます。
  接続テストに失敗した場合は、[再検索]をクリックして手順4へ戻り、SSIDと暗号化キーを再度入力して接続テストを行ってください。
- オンラインゲーム、インスタント・メッセンジャー、UPnP対応ソフト、ダイナミックDNSなどを使用する場合は、リファレンスガイドを参照して、本商品をブリッジモードに切り替えてください。参照方法は、本書P162をご覧ください。

以上で設定は完了です。

# ホテルやご家庭で使用する（有線接続）

ホテルやご家庭のネットワークに有線接続する場合は、以下の手順で設定を行います。

## パソコンで設定する場合

**1** 「卓上クレードルへの取り付けかた」（P49）を参照して、卓上クレードルを設置し、本商品を卓上クレードルに取り付けます。

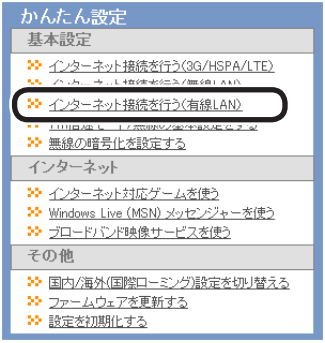
メモ
- コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、卓上クレードルに取り付けてください。無理に取り付けると破損する恐れがあります。
- 卓上クレードル背面の切り替えスイッチは、「INTERNET」に設定してください。

**2** 卓上クレードル背面の有線ポートとホテルの客室に設置されているLAN ポート（またはご家庭に設置されているブロードバンドルーターのLANポート）をLANケーブルで接続します。

**3** 「パソコンとの無線LAN接続」（P62）を参照して、パソコンを本商品に無線接続します。

**4** 「設定画面を表示する」（P79）を参照して、本商品の設定画面を表示します。

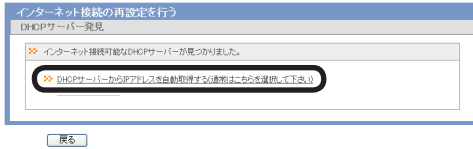
**5** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う(有線LAN)」をクリックします。



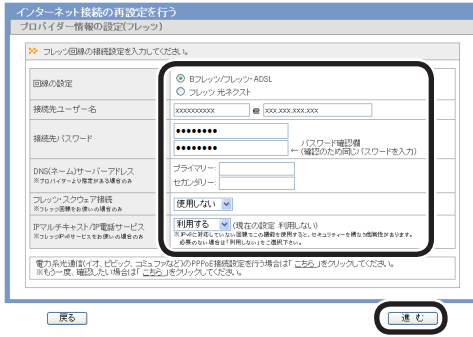

**6** 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。

**7** 画面Aが表示された場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する」をクリックします。
画面Bが表示された場合は、ホテルの客室の資料やプロバイダの資料（プロバイダ登録通知書など）にしたがって、各項目を入力し、[進む]をクリックします。

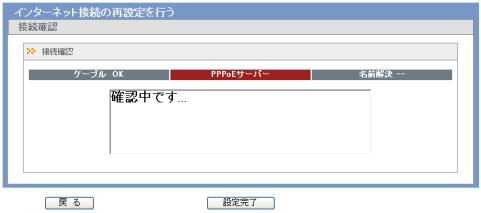
**画面A**




**画面B**



**8** 本商品が接続設定を確認しますので、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。




**9** 「接続成功です」という画面が表示されたら、[設定完了]をクリックします。

**メモ** 「接続成功です」と表示されない場合は、画面の指示にしたがってください。

以上で設定は完了です。

# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「卓上クレードルへの取り付けかた」(P49)を参照して、卓上クレードルを設置し、本商品を卓上クレードルに取り付けます。

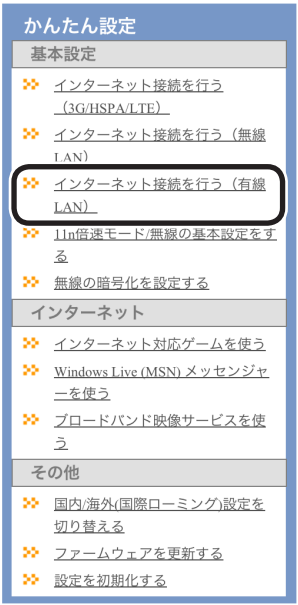
メモ
・コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、卓上クレードルに取り付けてください。無理に取り付けると破損する恐れがあります。
・卓上クレードル背面の切り替えスイッチは、「INTERNET」に設定してください。

**2** 卓上クレードル背面の有線ポートとホテルの客室に設置されているLAN ポート(またはご家庭に設置されているブロードバンドルーターのLANポート)をLANケーブルで接続します。

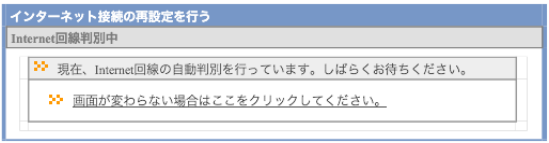
**3** 別紙の「かんたんセットアップマニュアル ポータブル機器編」を参照して、ポータブル機器を本商品に無線接続します。

**4** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**5** 設定画面が表示されたら、「インターネット接続を行う（有線LAN）」をクリックします。

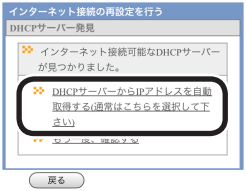



**6** 以下の画面が表示されたら、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。



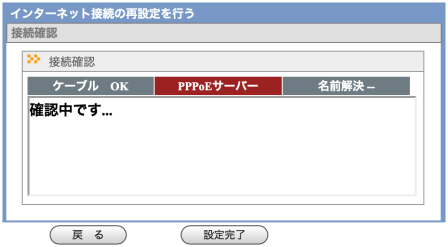
**7** 画面Aが表示された場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得する」をクリックします。
画面Bが表示された場合は、ホテルの客室の資料やプロバイダの資料（プロバイダ登録通知書など）にしたがって、各項目を入力し、[進む]をクリックします。

**画面A**




**画面B**

**8** 本商品が接続設定を確認しますので、画面が切り替わるまでしばらく待ちます。




**9** 「接続成功です」という画面が表示されたら、[設定完了]をクリックします。

**メモ** 「接続成功です」と表示されない場合は、画面の指示にしたがってください。

以上で設定は完了です。

# 5 海外利用

## 国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している本商品をドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアで利用いただけるサービスです。

**・対応エリアについて**

本商品は3Gネットワークのサービスエリア、および3G850MHzに対応した国・地域でご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

**・海外で本商品をご利用いただく前に、以下を合わせてご覧ください。**

- 『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

**・海外ではXiエリア外のため、3Gネットワークをご利用ください。**

# 海外で利用できるサービス

パケット通信によるデータ通信が3Gネットワークで利用できます。

国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

本商品は、日本国内含め、音声通話およびテレビ電話をご利用いただけません。

# 海外でご利用になる前の確認

## 出発前の準備について

### ■ ご契約について

・WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

・WORLD WINGを契約したドコモUIMカードを本商品に取り付けておく必要があります。

### ■ 充電について

・海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。

### ■ 滞在先の国、地域の電源、電圧について

・使用する国、地域によって電源電圧や、コンセントの形状が異なります。事前に、利用するパソコンの取扱説明書やパソコンメーカのホームページなどで、利用方法を確認してください。

### ■ ご利用料金について

・海外でのご利用料金(パケット通信料)は日本国内とは異なります。

■インターネット利用について

・海外でインターネットをご利用になる場合の海外アクセスポイントや設定方法については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

・mopera Uをご利用の方は、mopera Uのホームページを参照してください。http://www.mopera.net/

# 滞在先での利用について

■ネットワークの切り替えについて

・お買い上げ時の設定では、「国別動作モード」は「国内で使用する」になっています。海外でご利用になる場合は「海外で使用(国際ローミング)する」に設定を行ってください。(P140)

・「ローミング事業者」を手動検索と設定し、定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が定額(1日あたり)でご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービス、定額データプラン、またはXiデータ通信専用プランへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。
通信事業者の設定方法につきましては、「国際ローミングの設定を行う」(P140)を参照してください。

■本商品の設定画面の表示について

・本商品の設定画面には、現在接続している事業者の情報が表示されます。

■海外でのお問い合わせについて

・本商品やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」を参照してください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

・一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている『国際電話アクセス番号』または『ユニバーサルナンバー用国際識別番号』が必要です。

# 帰国後の設定について

帰国後は、本商品の設定変更が必要です。P141の手順３で「国内で使用する」を選択して[次へ]をクリックしてください。国内で使用する設定になります。

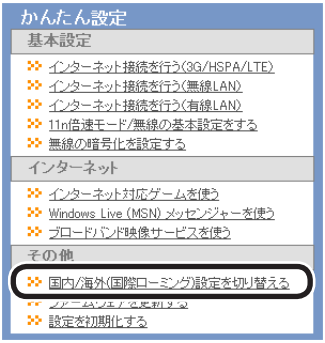
## 国際ローミングの設定を行う

本商品を海外で使用するには、以下の手順で設定を行ってください。

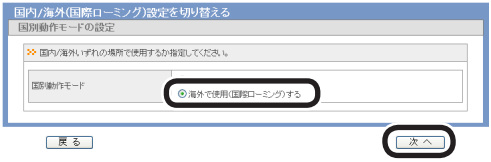
# パソコンで設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

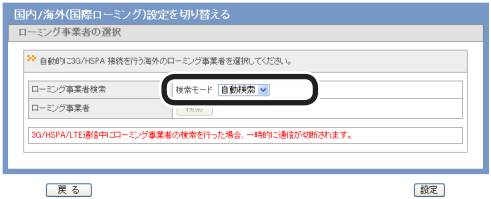
**2** 設定画面が表示されたら、「国内/海外(国際ローミング)設定を切り替える」をクリックします。



**3** 「海外で使用(国際ローミング)する」を選択し、[次へ]をクリックします。




**4** ローミング事業者を指定します。



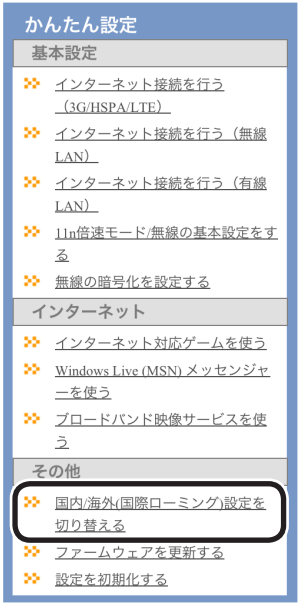

**メモ**
- [自動検索]の場合は、本商品がローミング事業者を自動的に選択します。[自動検索]を選択して、[設定]をクリックしてください。
- [手動検索]の場合は、一覧に表示されたローミング事業者に手動で接続します。[手動検索]を選択して[検索]をクリックすると、利用可能なローミング事業者が一覧に表示されますので、接続したい事業者を選択し、[設定]をクリックしてください。
- 上記で[自動検索]に設定した場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他のローミング事業者を検索して接続し直されます。

以上で設定は完了です。

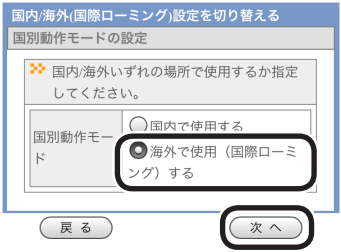
# ポータブル機器で設定する場合

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

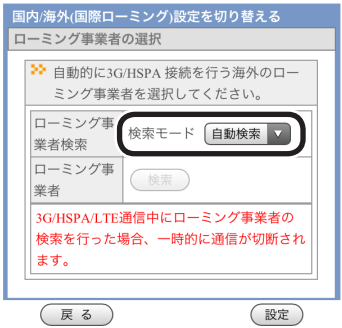
**2** 設定画面が表示されたら、「国内/海外(国際ローミング)設定を切り替える」をクリックします。



**3** 「海外で使用(国際ローミング)する」を選択し、[次へ]をクリックします。




**4** ローミング事業者を指定します。




**メモ**
- [自動検索]の場合は、本商品がローミング事業者を自動的に選択します。[自動検索]を選択して、[設定]をクリックしてください。
- [手動検索]の場合は、一覧に表示されたローミング事業者に手動で接続します。[手動検索]を選択して[検索]をクリックすると、利用可能なローミング事業者が一覧に表示されますので、接続したい事業者を選択し、[設定]をクリックしてください。

・上記で[自動検索]に設定した場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他のローミング事業者を検索して接続し直されます。

以上で設定は完了です。

# 6 困ったときは

## 無線接続で困ったとき

| 現象 | 対処方法 |
| --- | --- |
| 無線機器と本商品をAOSS接続できない | ・本商品の電源を入れ直してください。<br>・電池パックを充電するか、付属のACアダプタを接続してください。<br>・パソコンおよび携帯用ゲーム機を接続する場合は、本商品を近づけてから、接続を行ってください。<br>iPadやiPod touchを接続する場合は、本商品の設定画面にて現在のSSIDと暗号化キーを確認し、そのSSIDと暗号化キーを使って無線接続してください。<br>なお、お買い上げ時のSSIDと暗号化キーの設定は、本商品の初期値ラベル(P36)で確認することができます。<br>・セキュリティーソフトがインストールされている場合は、一時的にファイアウォール機能を停止してください。設定については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。<br>・リファレンスガイドを参照して、無線チャンネルを変更してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。<br>・無線LAN機能を搭載したパソコンをお使いの場合は、パソコン本体の無線LANが有効になっているか確認してください。<br>・USBやPCカード型の無線子機をお使いの場合は、一度無線子機のドライバーを削除し、最新版のドライバーをインストールしてください。 |

| 現象 | 対処方法 |
| --- | --- |
| AOSS接続後に「IPアドレスの競合が検出されました」と表示される | AOSS接続後に「IPアドレスの競合が検出されました」と表示される場合は、パソコンを再起動してください。 |
| AOSSを使用せずに無線機器と本商品を無線接続したい | AOSSを使用せずに無線機器と本商品を無線接続する手順は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。 |
| 電波の状態が悪い/通信が途切れる/通信速度が遅い | ・本商品と無線機器との間に障害物がある場合は、障害物を移動させるか、本商品の使用場所を変更してください。<br>・周りに本商品と同じ周波数帯を使用する機器(コードレス電話や電子レンジなど)がある場合、混信し、通信が途切れることがあります。その場合は、本商品の無線チャンネル設定を変更してください。チャンネルの変更方法については、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。 |
| 本商品に設定されているSSIDや暗号化キーが分からなくなった | 本商品に設定されているSSIDや暗号化キーは、本商品の設定画面から確認できます。リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書P162をご覧ください。<br>なお、お買い上げ時のSSIDや暗号化の設定は以下のようになっています。<br>SSID　本商品の初期値ラベル(P36)に記載の値<br>暗号化の種類　WPA/WPA2 mixedmode - PSK AES<br>暗号化キー　本商品の初期値ラベル(P36)に記載の値 |

# 本商品の設定画面が表示できなくて困ったとき

| 現象 | 対処方法 |
| --- | --- |
| 本商品の設定画面にログインできない | ・設定を行う機器が本商品と接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、無線またはLANケーブルで接続してください。<br>・設定画面にログインするためのユーザー名やパスワードが正しいか確認してください。初期値でお使いの場合、ユーザー名は「root」、パスワードは未設定です。パスワードを忘れてしまった場合は、「本商品の設定を初期化したいときは」(P149)を参照して設定を初期化してください。(初期化すると、パスワード以外の設定も初期値に戻ります)<br>・「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示してください。<br>・Internet Explorerなどのブラウザがプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。<br>・設定を行う機器のIPアドレスが正しく設定されているかを確認してください。 |
| 本商品の設定画面にログインできない<br>(AOSS/DIAGランプが赤く点滅している) | 本商品に異常が発生しています。AOSS/DIAGランプの点滅回数と内容については、本書のP34を参照してください。<br>なお、AOSS/DIAGランプは、本商品の電源をONにしたときや、ファームウェア更新時にも赤く点滅しますが、異常ではありません。 |

# 本商品のランプの表示で困ったとき

| 現象 | 対処方法 |
| --- | --- |
| 交換した電池パックの残量が十分あるにもかかわらず、BATTERYランプが青色に表示されない | 電池パックの交換を短時間で行った場合、BATTERYランプが正しく表示されないことがあります。いったん電源をOFFにして、30秒以上経ってから電源を入れ直してください。 |

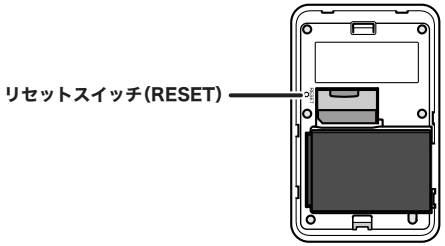
# 本商品の設定を初期化したいときは

本商品の設定の初期化(リセット)は、以下の手順で行ってください。

**1** 本商品の電源がONになっていることを確認します。

**2** 本商品のリアカバーを取り外します。

**3** リセットスイッチ(RESET)を本商品のAOSS/DIAGランプが赤く点滅するまで(約3秒間)押し続けます。




**4** 約1分後、本商品のAOSS/DIAGランプが緑色に点灯することを確認します。

以上で本商品の初期化は完了です。

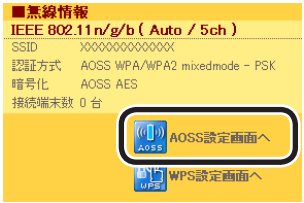
# 現在のSSIDや暗号化キーを確認したいときは

現在、本商品に設定されているSSIDや暗号化キーの確認は、以下の手順で行ってください。

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** AOSSアイコンが青く表示されている場合は、AOSS アイコンをクリックします。

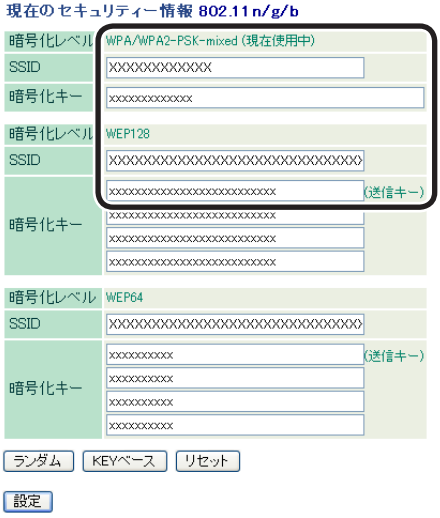
AOSSアイコンが黒く表示されている場合は、WPS アイコンをクリックします。



以降の手順は、クリックしたアイコンによって異なります。

## AOSSアイコンをクリックした場合

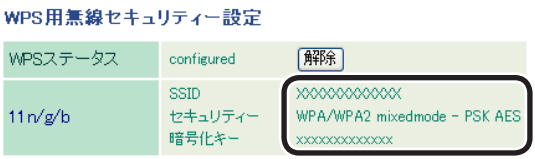
「現在のセキュリティー情報」の項目で、(現在使用中)と表示されている部分のSSIDと暗号化の種類、暗号化キーを控えてください。




**メモ** 「WEP128」「WEP64」が現在使用中の場合は、暗号化キーの1行目を控えてください。

## WPSアイコンをクリックした場合

「WPS用無線セキュリティー設定」の項目で、SSIDと暗号化の種類、暗号化キーを控えてください。




メモ　セキュリティーが「WPA/WPA2 mixedmode - PSK AES」となっている場合は、WPA2-PSK-AES（推奨）またはWPA-PSK-AESで接続してください。

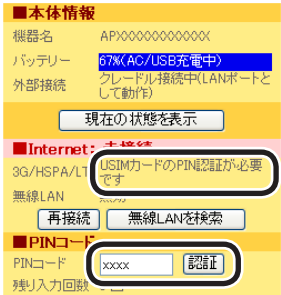
# ドコモUIMカードがロックされたときは

ドコモUIMカードがロックされると、本商品の設定画面を表示した際に「USIMカードのPIN認証が必要です」または「USIMカードのPIN認証がロックされています」というメッセージが表示されます。その場合は、以下の手順に従って、ロックを解除してください。

## 「USIMカードのPIN認証が必要です」と表示される場合

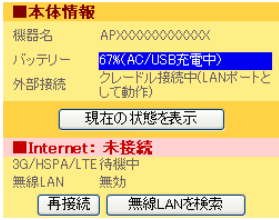
**1** 「設定画面を表示する」(P79)の手順１～５を行います。

**2** 設定画面が表示されたら、「USIMカードのPIN認証が必要です」というメッセージが表示されていることを確認し、ドコモUIMカードに設定されているPINコードを入力して、[認証]をクリックします。




**メモ** PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされます。解除を行うにはPUK(PINロック解除コード)が必要になります。

**3** ロックが解除されると、画面から「USIMカードのPIN認証が必要です」というメッセージが表示されなくなります。

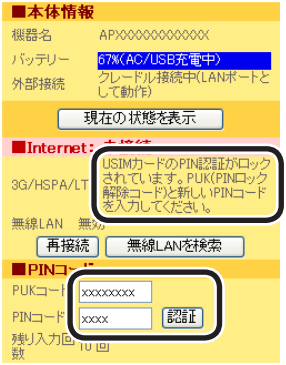



以上で設定は完了です。

# 「USIMカードのPIN認証がロックされています。」と表示される場合

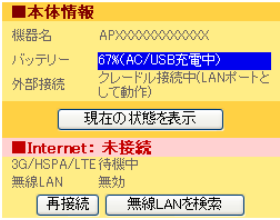
**1** 「設定画面を表示する」(P79)の手順１～５を行います。

**2** 設定画面が表示されたら、「USIMカードのPIN認証がロックされています。」というメッセージが表示されていることを確認し、ドコモUIMカードに設定されているPINコードと、ご契約時に通知されたPUK(PINロック解除コード)を入力し、[認証]をクリックします。




**メモ** PUK(PINロック解除コード)の入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードが完全にロックされます。完全にロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

**3** ロックが解除されると、画面から「USIMカードのPIN認証がロックされています。」というメッセージが表示されなくなります。




以上で設定は完了です。

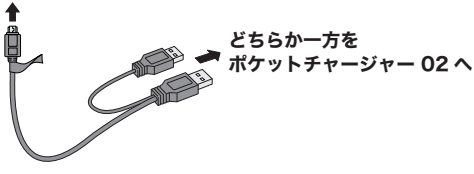
# 7 付録

## オプション・関連機器のご紹介

本商品にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 卓上クレードル BF02
- 電池パック BF01
- リアカバー BF02
- USBケーブル BF01※1
- ACアダプタ BF01
- ポケットチャージャー 02※2

※1　ポケットチャージャー 02でご利用の場合は、2つのコネクタのうち、どちらか一方を接続してください。




※2　ご利用には、USBケーブル BF01が必要です。

# 主な仕様

## 本体/卓上クレードル

| | | |
|---|---|---|
| モバイルインターフェース | 準拠規格 | LTE（Cat.3）/ W-CDMA（R99）/ HSDPA（Cat.10）/ HSUPA（Cat.6） |
| | 最大データ転送速度（理論値） | LTE（屋内） UP ：25Mbps Down ：75Mbps<br>LTE（屋外） UP ：12.5Mbps Down ：37.5Mbps<br>W-CDMA UP ：384kbps Down ：384kbps<br>HSDPA 14Mbps<br>HSUPA 5.7Mbps<br>※海外ローミング設定時は、LTEは使用できません。 |
| | 周波数範囲 | Band I 2100MHz UP ：1920～1980MHz<br>Down ：2110～2170MHz<br>Band V 850MHz UP ：824～849MHz<br>Down ：869～894MHz<br>Band VI 800MHz UP ：830～840MHz<br>Down ：875～885MHz |
| | ポート数 | 1ポート |
| 無線インターフェース（LAN 側） | 準拠規格 | IEEE802.11b / IEEE802.11g / IEEE802.11n<br>ARIB STD-T66（IEEE802.11b/g） |
| | 最大データ転送速度（理論値） | IEEE802.11b 11Mbps<br>IEEE802.11g 54Mbps<br>IEEE802.11n 150Mbps |
| | モード | アクセスポイント（AP）モード |
| | 周波数範囲 | 2412～2472MHz 1～13ch<br>※海外で使用（国際ローミング）時は、2412～2462MHz 1～11chに制限されます。<br>※基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオなどとは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。 |
| | ポート数 | 1ポート |

| | | |
|---|---|---|
| | 同時接続可能機器数 | 12台 |
| | セキュリティー | WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA/WPA2 mixed PSK（AES）、WEP（64bit/128bit）プライバシーセパレーター, ANY接続拒否, MACアクセス制限（16台まで） |
| 無線インターフェース（Internet側） | 準拠規格 | IEEE802.11a / IEEE802.11b / IEEE802.11g / IEEE802.11n<br>ARIB STD-T71（IEEE802.11a）<br>ARIB STD-T66（IEEE802.11b/g） |
| | 最大データ転送速度（理論値） | IEEE802.11a　54Mbps<br>IEEE802.11b　11Mbps<br>IEEE802.11g　54Mbps<br>IEEE802.11n　150Mbps<br>※海外ローミング設定時は、IEEE802.11aは使用できません。 |
| | モード | ステーション（STA）モード |
| | 周波数範囲 | 5GHz帯　W52　36/40/44/48ch（5180～5240MHz）<br>W53　52/56/60/64ch（5260～5320MHz）<br>2.4GHz帯　1～13ch（2412～2472MHz）<br>※海外で使用（国際ローミング）時は、2412～2462MHz　1～11chに制限されます。また、5GHz帯も使用できません。<br>※基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオなどとは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。 |
| | ポート数 | 1ポート |
| | セキュリティー | WPA2-EAP（TKIP/AES）、WPA-EAP（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）、802.1X/EAP（WEP）、WEP（64bit/128bit） |

| | | |
|---|---|---|
| 卓上クレードル | 準拠規格 | IEEE802.3u(100BASE-TX)<br>IEEE802.3(10BASE-T) |
| | 最大データ転送速度(理論値) | 10/100Mbps(自動認識) |
| | ポート数 | 1ポート(AUTO-MDIX 対応) |
| 対応UIMカード | | ドコモUIMカード |
| その他本体外部インターフェース | | mini USB(USB1.1/2.0 対応)× 1 |
| 内蔵メモリ | | 約16GB(ユーザー領域約13GBを含む) |
| 使用電源 | | AC100V±10%　50/60Hz(ACアダプタ使用時)<br>BF-01D専用バッテリー(電池パック使用時) |
| 消費電流 | | 最大 約570mA |
| 連続通信時間 | | LTE通信時　約4時間<br>3G通信時　約5.5時間<br>※ 動作時間は使用環境により異なります。 |
| 連続待受時間 | | 約30時間<br>※ 動作時間は使用環境により異なります。 |
| 動作環境 | | 温度:　0～35℃<br>湿度:　10～85%(結露しないこと) |
| 外形寸法 | 本体 | 約108(W)×約68(H)×約23(D)mm |
| | 卓上クレードル | 約114(W)×約21(H)×約48(D)mm |
| 質量 | 本体 | 約193g(電池パック装着時) |
| | 卓上クレードル | 約52g |

本商品には、GNU General Public License(GPL)またはGNU Lesser General Public License(LGPL)でライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、ドコモのホームページ(http://www.nttdocomo.co.jp/)をご確認ください。

# 電池パック

| | |
|---|---|
| 品名 | 電池パック BF01 |
| 使用電池 | リチウムイオン電池 |
| 公称電圧 | DC3.7V |
| 公称容量 | 1880mAh |

# ACアダプタ

| | |
|---|---|
| 品名 | ACアダプタ BF01 |
| 入力 | AC100～240V　50/60Hz　11.2～14.8VA |
| 出力 | DC5V　1A |

# リファレンスガイドの参照方法

各種設定事例や画面説明、各ソフトウェアについての詳細は、ドコモのホームページ※に掲載しているリファレンスガイドに記載されています。
リファレンスガイドは、以下の手順で参照できます。
※本書の最新情報もダウンロードできます。

**⚠注意** リファレンスガイドを参照するには、パソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerがインストールされていない場合は、Adobeサイト（http://get.adobe.com/jp/reader/）より最新版のAdobe Readerをダウンロードしてインストールしてください。

**1** ブラウザなどから、ドコモのホームページ（下記アドレス）を表示します。
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）

**メモ** 本書のP57の手順7の画面にて、「マニュアルを読む（ドコモのホームページへ）」をクリックしてもドコモのホームページが表示されます。

**2** 「検索方法」にて、本商品の型番（BF-01D）を入力し、[検索]をクリックします。

**3** 「取扱説明書ダウンロードサービスの利用条件（利用同意文）」が表示されたら、内容を確認し、[同意する]をクリックします。

**メモ** リファレンスガイドを参照するには、利用同意文に同意いただく必要があります。

**4** 「一括ダウンロード」または「項目別ダウンロード」にて、リファレンスガイドを参照してください。

# ソフトウェア(ファームウェア)の更新

## ソフトウェア更新時の注意

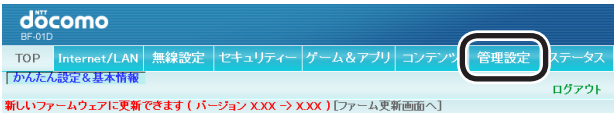
- ソフトウェアを更新するには、あらかじめ本商品にACアダプタ、またはUSBケーブルが接続されている必要があります。
- 故障の原因となりますので、ソフトウェア更新中に本商品の電源をOFFにしたり、電池パックを抜いたり、ACアダプタやUSBケーブルを抜いたり、卓上クレードルから抜き差しすることは絶対にお止めください。
- FOMA/Xi回線を使ってソフトウェアの更新を行う場合、お客様の契約内容によっては、多くのパケット料金が課金されることがあります。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しください。

## 設定情報の保存と復元について

本商品はソフトウェアを更新しても設定情報が保持されますが、万が一の場合に備えて、事前に現在の設定を保存しておくことをおすすめします。
設定の保存はパソコンを使って以下の手順で行います。

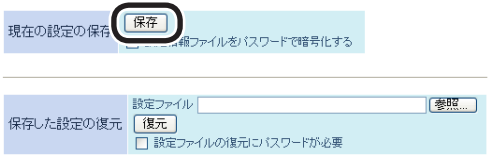
**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

**2** [管理設定]をクリックします。



**3** [保存/復元]をクリックします。

**4** [保存]をクリックし、設定ファイル(as_setting.bin)を任意の場所に保存します。




以上で設定は完了です。

**メモ** 設定を復元する場合は、手順4の画面で[参照]をクリックし、設定ファイル(as_setting.bin)を選択して[復元]をクリックしてください。

# ソフトウェア更新手順

**1** 「充電のしかた」(P44)を参照して、本商品にACアダプタ、またはUSBケーブルを接続します。

**2** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

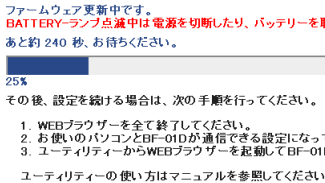
**3** 画面上部に表示されている[ファーム更新画面へ]をクリックします。

**メモ** [ファーム更新画面へ]が表示されない場合は、「設定画面に更新通知が表示されない場合」(P166)を参照してください。

**4** ソフトウェア(ファームウェア)を選択し、[更新実行]をクリックします。

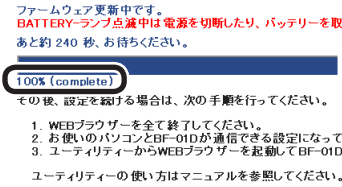
**メモ** [更新実行]がクリックできない場合、本商品にACアダプタ、またはUSBケーブルが接続されているか、ご確認ください。

**5** 更新中は以下の画面が表示されますので、完了するまでしばらくお待ちください。




**メモ** 更新中は、BATTERYランプが紫色に点滅します。

**6** 更新が完了すると、「100% (complete)」と表示されます。



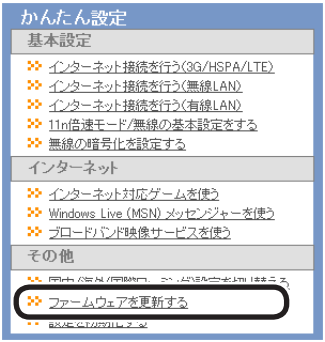

以上でソフトウェアの更新は完了です。

# 設定画面に更新通知が表示されない場合

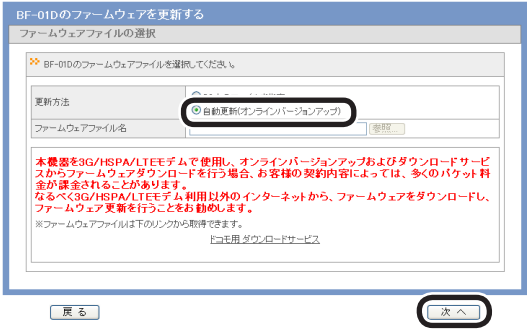
本商品の「ファームウェア更新通知機能」が「使用しない」に設定されている場合、上記の手順ではソフトウェアを更新できません。
その場合は、以下の手順にしたがってください。

**1** 「設定画面を表示する」(P79)を参照して、本商品の設定画面を表示します。

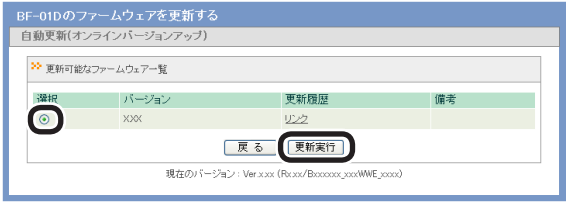
**2** かんたん設定より、[ファームウェアを更新する]をクリックします。



**3** 「自動更新(オンラインバージョンアップ)」を選択し、[次へ]をクリックします。

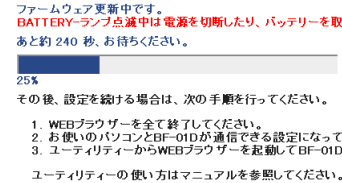



**4** ソフトウェア(ファームウェア)を選択し、[更新実行]をクリックします。



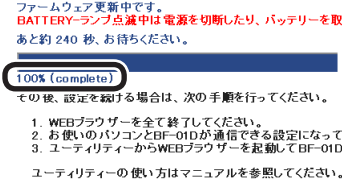

**メモ** [更新実行]がクリックできない場合、本商品にACアダプタ、またはUSBケーブルが接続されているか、ご確認ください。

**5** 更新中は以下の画面が表示されますので、完了するまでしばらくお待ちください。




メモ 更新中は、BATTERYランプが紫色に点滅します。

**6** 更新が完了すると、「100% (complete)」と表示されます。




以上でソフトウェアの更新は完了です。

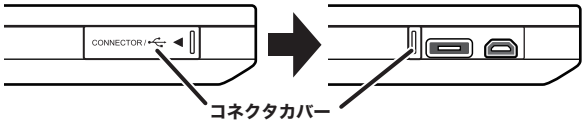
# ソフトウェアの削除

本商品の使用を中止したり不要になった場合は、以下の手順でソフトウェアを削除してください。

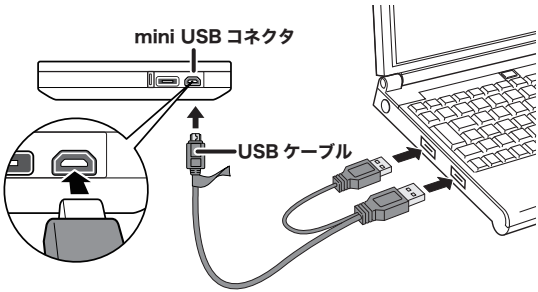
**メモ** アンインストールは、管理者権限のあるユーザー（Administratorなど）で行ってください。それ以外のユーザーで行うと、正常に削除できない場合があります。

**1** 本商品の電源をONにします。

**2** カチッと音がするまでコネクタカバーを開けます。




**3** 付属のUSBケーブルを本商品とパソコンに接続します。




**メモ** コネクタカバーをカチッと音がするまで完全に開けてから、USBケーブルを接続してください。無理に接続すると破損する恐れがあります。

**4** [スタート]ー[(マイ)コンピューター]を選択します。

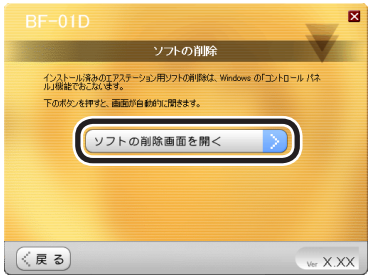
**5** [BF-01D専用ランチャー]をダブルクリックします。

**6** [Launcher.exe]をダブルクリックします。

メモ 「自動再生」画面や「BF-01D専用ランチャー」画面が表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」 → [Launcher.exe]をダブルクリックの順に実行してください。

**7** [削除]をクリックします。

**8** [ソフトの削除画面を開く]をクリックします。




**9** BUFFALOエアステーション設定ツール、BUFFALOクライアントマネージャVまたはBUFFALOクライアントマネージャ３を選択し、[アンインストールと変更]または[アンインストール]をクリックします。

**メモ** 上記はWindows 7の画面です。お使いのWindowsによっては、画面が異なることがあります。

**10** 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックします。

**11** 以降は画面の指示に従って、ソフトウェアを削除します。

以上でソフトウェアの削除は完了です。

# 暗証番号

ドコモUIMカードにはPINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。PINコードは、第三者による本商品の無断使用を防ぐため、本商品の電源を入れるときに使用者を認識するための４～８桁の番号（コード）です。

**メモ**
- **PINコードの設定方法は、リファレンスガイドを参照してください。参照方法は、本書（P162）をご覧ください。**
- **PINコードの入力を３回連続して間違えると、ロックされて使えなくなります。この場合は「PINロック解除コード（PUK）」でロックを解除してください。**
- **新しく本商品を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。**

## ■PINコードに関するご注意

お客様ご自身で番号を自由に変更できます。第三者による無断使用を防ぐため、お客様独自の番号に変更してください。

- 設定するPINコードは「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定したPINコードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- PINコードは、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一PINコードが他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

・PINコードを忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本商品、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

・PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

## ■PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。
PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。この場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- 本商品をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の故障・修理やその他お取り扱いによって設定された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、設定した内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

## アフターサービスについて

### ■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「困ったときは」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

### ■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

#### ■ 保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。

・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。

・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

### ■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）

・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

### ■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

### ■ 部品の保有期間は

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後６年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

# お願い

● 本商品および付属品の改造はおやめください。
・火災・けが・故障の原因となります。
・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
- ボタン部にシールなどを貼る
- 接着剤などにより本商品に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 本商品に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本商品の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、MACアドレス、SSIDなどが変更される場合があります。
- 本商品が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本商品の状態によって修理できないことがあります。

# ダウンロード情報などについて

本商品を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

# 用語集

## 3G

第３世代の携帯電話方式の総称です。従来の第２世代携帯電話方式と比較して高速なデータ通信が可能となっており、高品質な通話や動画の配信などにも利用されています。

## AES

IEEE802.11iで策定されている次世代暗号化方式です。「WEP」脆弱性の原因は、採用している暗号方式（RC4暗号）自体に解読手法が存在するためです。「TKIP」にて脆弱性の改善はされていますが、暗号方式自体を抜本的に見直したものが「AES」です。

## AOSS

AOSS（AirStation One-Touch Secure System）は、バッファロー社が開発した無線LANの接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うためのシステムです。機器に搭載されたボタンを押すことで、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

## DHCPサーバー

DHCPサーバーはネットワークに関連した情報（IPアドレス、ルーターのIPアドレス、ドメイン名など）を管理します。DHCPクライアントが起動すると、自動的にIPアドレスなどの情報を割り振ります。DHCPサーバーがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや無線親機に、IPアドレスなどを手動で設定する必要がなくなります。

## DNS

コンピューター名やドメイン名を、それぞれに対応したIPアドレスに変換するシステムです。

## HSPA

第３世代携帯電話方式（3G）の規格であるW-CDMAを拡張して、さらに高速化した規格です。下り方向を高速化したHSDPA、上り方向を高速化したHSUPA を組み合わせた規格で、従来の５倍以上の通信速度を実現します。

## LTE

LTE（Long Term Evolution）は、移動体通信の通信規格の一種で、現在の3G（第3世代携帯電話）の通信方式であるW-CDMAに複数の新技術を追加することで、従来よりも高速な通信が行える規格です。下り100Mbps以上/上り50Mbps以上の高速通信の実現を目指して、W-CDMA方式の標準化団体3GPPで標準化されました。

## MACアドレス

ネットワーク機器ごとの固有の物理アドレスです。先頭からの3bytesのベンダーコード（メーカーのID）と、残り3bytesのユーザーコードの6bytesで構成されます。Ethernetではこのアドレスを元にフレームの送受信を行います。

## SSID

無線機器と無線親機の通信時に混線しないために設定するIDです。無線機器が無線親機と通信するときは、同一のSSIDを設定します。

## TKIP

無線のデータ暗号化方式であるWPAに用いられている暗号化プロトコルです。従来の暗号化方式である「WEP」にあった同じ暗号化キーを使いつづけるため発生する脆弱性を克服するため、キーを自動的に変更し、暗号化を行うように改良された暗号化プロトコルが「TKIP」です。定期的に使用する暗号化キーを変更するため、キーの解析が困難となり、より強固なセキュリティーを持った無線LANを構築することが可能です。

## WEP

無線LANの規格である802.11に追加されたデータを暗号化する機能です。WEP（暗号化）キーに64 ビット長のデータを使う方式と128ビット長のデータを使う方式の２つがあります。このWEP（暗号化）キーを元に送受信データを暗号化します。万一、第三者に電波を傍受されても、暗号化されたデータの解読は困難です。ビット数の値が大きいほど（64bit ＜ 128bit）暗号が複雑化し、セキュリティー度が向上します。無線親機にWEP設定を行なうと、同じWEPキーを設定した無線機器からしか接続ができなくなります。

## WPA

無線LANの暗号化方式のひとつで、従来採用されてきたWEPの弱点を補強し、セキュリティー強度を向上させたものです。従来のSSIDとWEPキーのセキュリティーに加え、Pre-Sheared Key（PSK）や、PPP Extensible Authentication Protocol（EAP）などを用いて認証を行い、無線親機から配布される暗号化キーで接続させます。また、認証によって配布された暗号化キーを一定時間で自動更新することで、安全性を向上させています。暗号化についても「TKIP」と呼ばれる暗号プロトコルを採用するなど改善が加えられています。

## WPA2

WPAがセキュリティー標準規格「IEEE802.11i」に採用予定であった暗号化の一部から作成されているのに対して、WPA2では正式に策定された「IEEE802.11i」に基づいて作成されています。
従来のWPAでは、暗号プロトコルに「TKIP」を採用していましたが、より強力な暗号化技術である「AES」をサポートすることでセキュリティー強度を従来より向上させています。

## WPS

WPS（Wi-Fi Protected Setup）は、無線LAN の普及推進団体であるWi-Fi Allianceによって策定された、無線LANの接続や暗号化など各種セキュリティー設定を簡単に行うための規格です。機器に搭載されたボタンを押すことで接続設定を行うプッシュボタン式と、機器固有情報を相手側機器に登録することで接続設定を行うPINコード式があり、自動的に接続・セキュリティー設定を行うことができます。

## グローバルIPアドレス

インターネットに直接接続でき、インターネット上では重複しないIPアドレスです。

## ゲートウェイ

ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェアです。パケットがLANの外に出て行くときに通過します。

## サブネットマスク

IPアドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値です。ルーターがパケットを送受信するために用いられます。

## ダイナミックDNS

動的に変化するIPアドレスに対して、一意のドメイン名を提供し、提供したドメイン名とIPアドレスの関連付けを行うサービスです。これにより、IPアドレスが変化してもドメイン名を使ってInternet側からアクセスすることが可能となります。

## ドメイン名

インターネットに接続するコンピューターはIPアドレスと呼ばれる数字を使って識別されていますが、ドメイン名は数字よりも簡単に覚えられるようにと考えられた文字で表現された名前です。

## パケット

ネットワーク上を流れるデータの単位です。ヘッダー（宛先アドレスや送信元アドレス）と情報データ（実データ）から構成されます。

## パケットフィルタリング

通信セキュリティー機能の一つで、パケットの宛先アドレスや送信元アドレスを読み取り、ユーザーが設定したルールに従ってパケットの通過・遮断を判断します。

## プライバシーセパレーター

プライバシーセパレーターは、1台の無線親機に直接無線接続している機器間の通信(共有フォルダーなどへのアクセスなど)を禁止するセキュリティー機能です。

## プライベートIPアドレス

インターネットに直接接続せず、閉じたネットワーク内同士であれば、重複して自由に使用することができるIPアドレスです。プライベートIPアドレスには、次のような種類があります。

クラスA:10.xxx.xxx.xxx/255.0.0.0
クラスB:172.16.0.0 ～ 172.31.255.255/255.255.0.0
クラスC:192.168.xxx.xxx/255.255.255.0

# 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

# Regulatory Information

# Federal Communications Commission (FCC) Statement

15.21
You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the part responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

15.105(b)
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

**This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:**

1) this device may not cause harmful interference and
2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation of the device.

**FCC RF Radiation Exposure Statement:**

For body worn operation, this device has been tested and meets FCC RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the device a minimum of 1.0 cm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.

SAR information: **0.573** W/Kg (1g)

# CE Marking

This device has been tested to and conforms to the regulatory requirements of the European Union and has attained CE Marking. The CE Mark is a conformity marking consisting of the letters "CE". The CE Mark applies to products regulated by certain European health, safety and environmental protection legislation. The CE Mark is obligatory for products it applies to: the manufacturer affixes the marking in order to be allowed to sell his product in the European market.

This product conforms to the essential requirements of the R&TTE directive 1999/5/EC in order to attain CE Marking. A notified body has determined that this device has properly demonstrated that the requirements of the directive have been met and has issued a favorable certificate of expert opinion. As such, the device will bear the notified body number 0560 after the CE mark.

The CE Marking is not a quality mark. Foremost, it refers to the safety rather than to the quality of a product. Secondly, CE Marking is mandatory for the product it applies to, whereas most quality markings are voluntary.

Marking: The product shall bear the CE mark, the notified body number(s) as depicted to the right. CE 0560.

SAR information: **0.637** W/Kg (10g)

# 索引

## あ行

暗証番号……172
エアステーション設定ツール……58, 79, 171
主な仕様……158

## か行

海外利用……137
クライアントマネージャ……58, 62, 171
卓上クレードル……37, 45, 49, 52, 129
国際ローミング……91, 95, 137 140

## さ行

サブネットマスク……180
充電……44, 47
設定画面……79, 85, 88, 147

## は行

フリースポット……117
フレッツ・スポット……103
ホットスポット……110

## や行

輸出管理規制……182

## ら行

リセットスイッチ……36, 149
リファレンスガイド……162

## アルファベット

AES……177
AOSS……62, 122, 145, 146, 151, 177
AOSS ボタン……35, 64, 70, 122, 123
DHCP サーバー……82, 131, 135, 177
DNS……177
LTE……32, 178
MAC アドレス……103, 117, 172
mopera U……90, 97
Mzone……97
SSID……36, 73, 81, 125, 128, 146, 150, 178
TKIP……178
WEP……179
WPA……62, 179
WPA2……62, 179
WPS……62, 122, 152, 179
Xi……27, 90, 137, 139

## 数字

3G……137, 138, 177

■ 本書の一部または全部を無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
■「FOMA」、「mopera U」、「Mzone」、「Xi/クロッシィ」および「Xi」ロゴは、NTTドコモの商標または登録商標です。
■ フレッツ・スポットは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
■「ホットスポット」は、NTT コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
■ Mac、Macintosh、iPad、iPod、iTunes は、米国及びその他の国々で登録されたApple Inc. の商標または登録商標です。
■ ニンテンドー3DS、ニンテンドーDS は、任天堂の登録商標です。
■「プレイステーション」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。また、「PSP」は同社の商品です。
©2008 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved.Design and specifications are subject to change without notice.
■ BUFFALO™ は、株式会社メルコホールディングスの商標です。AOSS™は、株式会社バッファローの商標です。
■ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
■ 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
■ 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。
■ 本商品は一般的なオフィスや家庭のOA 機器としてお使いください。
・ 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・ 一般OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。
■ 本商品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

**ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。**

**パソコンから： My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き**

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

## マナーもいっしょに携帯しましょう

本商品を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。
◎こんな場合は必ず本商品の電源を切りましょう。

**■ 使用禁止の場所にいる場合**

航空機内、病院内では、必ず本商品や接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず本商品や接続しているパソコンなどの電源を切ってください。

**■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

**■ 運転中の場合**

運転中の本商品を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

**■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所で本商品を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

## 海外での紛失、盗難、精算などについて
### <ドコモ インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*(無料)**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

## 海外での故障について
### <ネットワークオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*(無料)**

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号/ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された本商品に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

## 総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)**151**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

**0120-800-000**

※一般のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00(年中無休)

## 故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの)**113**(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

**0120-800-000**

※一般のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間(年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
  ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　株式会社バッファロー

'12.3(第2版)

35012476-02

Li-ion 00